

令和6年度
学校教育計画



枚方市立山之上小学校

〒573-0047 枚方市山之上1丁目32番1号

電話 050-7102-9068

FAX 072-841-0369

E-mail yamanoue-e00@city.hirakata.ed.jp

教育の営みは、「人間の内面的価値に関する文化的営み」であることから、教育を実践する上では、教育の「自主性」「自律性」「自由」が尊重され、保障されなければならない。

教育の本質を具現化していく上での法的な根本原則は、国連憲章ならびに「子どもの権利条約」、そして、日本国憲法にある。本校の教育も「それらの教育の本質」にもとづいて方針を打ち立てる必要がある。

とりわけ、日本国憲法においては、前文ならびに、教育関連の次の条文が非常に重要で大きな意味をなすものとなっている。

13条「国民の幸福追求権」、19条「思想・良心・内心の自由」、23条「学問の自由」、26条「教育の権利」などである。

これらの原理がベースとなって、教育基本法をはじめとする教育関係諸法令・条例および各種法令がつけられている。

我々は、上記の原理原則、理念を踏まえ、よりよい社会の形成者として子ども達の人格の完成を目指し、ひとり一人の可能性を最大限に引き出す教育を実現しなくてはならない。

ここにその教育の本質を踏まえ、教育理念の実現と、子ども達の「人格の完成」をめざす初等教育を推進する羅針盤として、本校の教育目標を設定したい。

今、教育現場では、新学習指導要領の意義を踏まえ、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく新しい知や価値を創造する能力の育成へつながる場となることが求められている。

同時に、わが国の伝統と文化を尊重しつつ公共互助の精神や、豊かな人間性を備え、たくましく生きる子どもの健全な育成も求められている。

そこで、本校の全教職員、児童が同じベクトルを向きながら、より具体的な教育実践の方向性をより明瞭にしなが、取り組んでいくことができるよう、一昨年度から、学校教育目標を発展的に改定し「わかる、できる、考える」子の育成におけ学校全体の取組を進めてきた。

副題として、「希求する児童の姿」を、「知・徳・体」の生きる力を育てることとし、「知」＝「確かな学力」、「徳」＝「豊かな心」、「体」＝「健やかな体」のバランスのとれた子どもの育成を目指していきたい。

以上を踏まえ、学校教育目標の実現に向け、文部科学省をはじめとして大阪府教育庁および枚方市教育委員会の方針、枚方市学校園の管理運営に関する指針を道標としなが、学校教育を進めていく。

さらに「学校教育自己診断」結果、学校運営協議会委員の提言をはじめ、全国学力・学習状況調査結果等をふまえ、学校や児童の実態や課題に正対した教育活動をより進めていくことも必要である。

そして、学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していく中で、自らの資質や指導力の向上に努め、「すべての子どもたちが生き生きと学ぶことができる学校づくり」に全教職員が一致協力して全力で取り組んでいきたい。

同時に保護者や地域住民の皆様の学校に対する期待を真摯に受け止め、教職員との協働による「地域とともにある学校づくり」、「保護者・地域の信託に応える教育」を全教職員一体となって推進していく。

そしてなによりも、子ども一人ひとりの目が輝き、わかった!できた!と生き生きと学校生活を送る子ども達の姿を目指し、学校教育目標の実現におけて邁進していきたい。

R6 学校教育目標 系統一覧図



【求める具体的な姿】

【1】感謝の気持ちと笑顔があふれる学校

【2】自ら考えて行動し、できた、わかった!の体験を通じて、自己有用感を高める。

児童に求めること：①自ら考えて行動し、できた、わかった!の体験を通じて、自己有用感を高める。

②知・徳・体の生きる力をつける。

※ 学校教育目標の「できる」の具体例・・・別表

③感謝の気持ち

教職員に求めること

①高い人権感覚・倫理観・危機管理意識、社会人としての模範意識

②常に研究と修養に励み、授業力を磨き、教育理念の実現に向けた教育実践力を高める。

③児童生徒に対する深い教育愛と教育理念実現への追求。

④広い視野で、物事の本質を見る眼を養う。

◎ 教員としての最も大切にしたい姿勢の一つ・・・「謙虚さ」 (人に対して、物に対して、時間に対して)。

◎ 教員として発揮したい4つの力

①直観力：(見抜く力) + ②直感力：(ピンとくる力) + ③共感力：(信頼関係づくり)

④イメージ力：(行動・言動のもとを知り、次の予測を立てる力)

★ 「ほんの一言、されど一言」 を大切に

3) 集団力の発揮

◎ ・教師集団+学習集団+生活集団として

「つながり」「支え合い」「学び合い」「高め合う」・・・4つの結びつき

◎ 学校組織として

☆ 「学年を縦系、部会を横系とし、主任・主担者を中心に学校が組織的に機能させていく」

そのために、 報告・連絡・相談(組織として、チームとして)

教職員間のコミュニケーション

凡事徹底 高いアンテナ・広い視野

【支え合い】

○学級経営や子どもとの対応に悩んでいる教員が、
気さくに他の教員に相談できる。

○目立たないが地道に教育実践に取り組んでいる教員を
認め合い、一言かえあっている。

○定期的に学年集団で、授業や行事等の話し合いを持っている。

【学び合い】

○敷居が低い中で、教員同士で授業を参観したり、議論しあっている。

○お互いに授業展開の工夫や課題等を自主学習会などで学びあっている。

○お互いに独自に開発したワークシートや教材を融通しあっている。

【高め合い】

○研究校等の公開授業に誘い合って参加している。

○新しい教育かんけいの本が話題になっている。

○自主的に参加した研修の内容を報告しあっている。

「わかる・できる・考える」子ども

～「知・徳・体」の生きる力（確かな学力・豊かな心・健やかな体）を育てる～

◎子どもの視点と教師の視点の双方向から

具体例	わかる	できる	考える
知	授業の内容がわかる	話をきちんと聞く	課題や問題を自ら探求する
	授業規律、学習規律を理解する	自分の思いを相手に伝える	自分の頭で、答えを出す。
	自然科学的なきまり、定理、法則	時間を守る	グループで交流しあう
	社会科学的なきまり、定理、法則	分かりやすい授業、授業改善	安全に行動する方法、手立て
	新しく学ぶことを理解する。	さまざまな教科について、できるようになる ※別表	子どものつまずき、悩み、子ども目線からの支援
徳	人、相手の気持ちがわかる	あいさつができる	ルールを守ることの意味を考える。
	善悪の区別や判断	学校の決まりを守る	相手の気持ち
	人とのかかわり方、場に応じたあいさつ	学習の決まりを守る	自分中心でない物事の味方考え方
体	自分の体のことを知る	丈夫な体で、健康な毎日を過ごす	健康な生活について考える
	体力について知る。	体育の技ができるようになる	心の健康について考える
	健康な体について知る。	仲間と切磋琢磨して体力	体力向上に向けた取り組みについて考える

教科「できる」の具体例 ※別表

国語 漢字テスト（学期末、学年末）80点以上9割以上
リズム漢字
棟学学年の漢字読み100% 書き90%以上
古文暗唱
漢詩
百人一首 100首
ことわざ 50
読書50冊/年
社会 都道府県 県庁所在地名
大阪府市町村名
日本の地形 山、川平野、半島、島
歴史上の人物50人
枚方八景（川等の地名）
日本国憲法前文暗唱
世界の国の名前と首都 50カ国

算数 100マス足し算繰り上がり 3分以内
100マス引き算繰り下がり 4分以内
100マスかけ算 九九 3分
あまりのあるわり算100 5分以内
コンパスで円が書ける
分度器で正確に角度を測る
は・じ・き（速さ・・）の計算ができる。
理科 草・花・木の名前
星、惑星、星座、21の1等星
酸素、水素、二酸化炭素
天気の仕事
体育 逆上がり 100%（6年卒業時）
縄跳び20とび 10回
一人倒立（支えあり）
登り棒 上まで
20mシャトルラン 100回（6年次）
音楽 リコーダーのサミング

山之上小学校では、〇〇ができるようになった
（指導法、授業改善への取組）

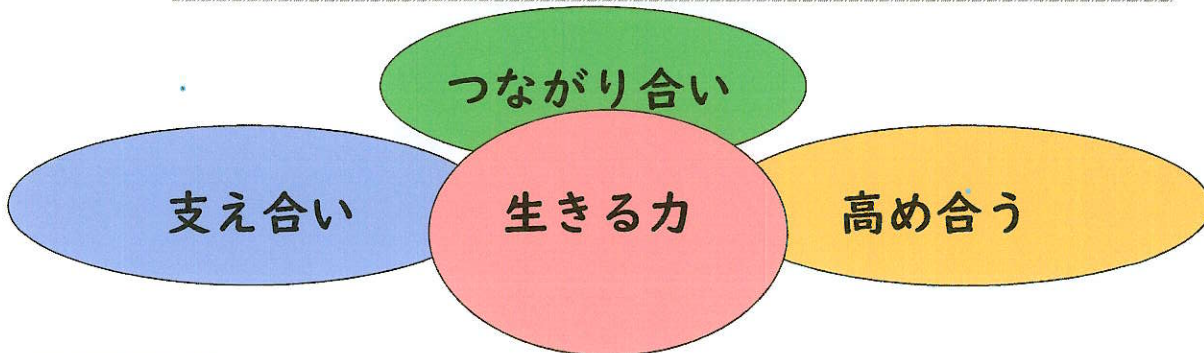
↓
自己肯定感、自己有用感の涵養

↓
生きる力の育成

↓
めざす子どもの姿、目指す学校像

図工 彫刻刀
家庭 針の糸通し
ミシンの使い方
3大食物
外国語 英単語
かんたんな挨拶
複数カ国の挨拶

学校教育目標
「わかる・できる・考える」子ども

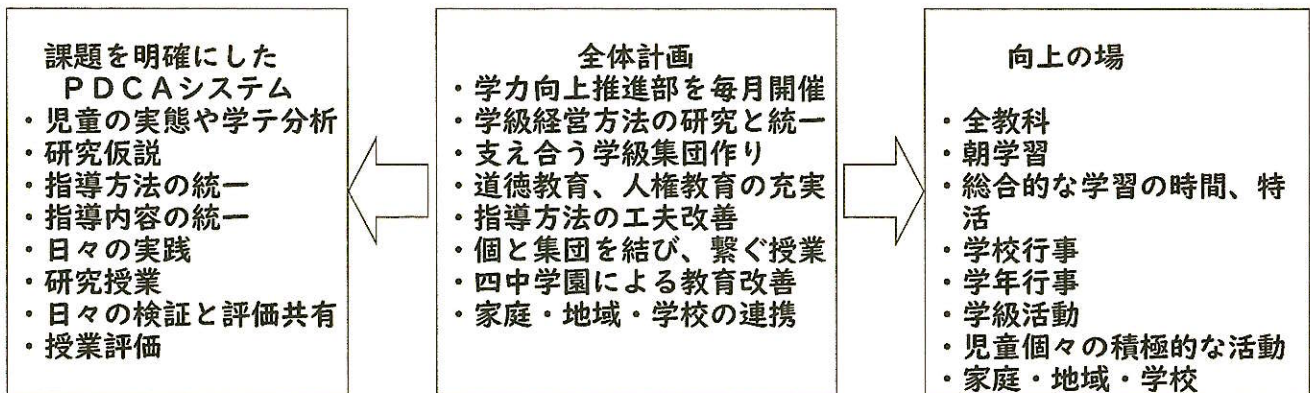


基本方針 児童が互いにつながり合い、支え合い、高め合う学習・生活集団の形成

・児童が互いにつながり合い、支え合い、高め合う学習集団・生活集団の形成に向けて全教職員が一体となって取り組み、児童の確かな学力、豊かな人権感覚、自己教育力感情を育む。そのために思考ツールや ICT 機器などのツールの活用を通して、全教科・領域を通じてよりよい学習形態や指導方法の工夫改善を図り、全児童の学力の底上げを図る。同時に、児童の社会性、人間性を育み、全児童が暖かい思いやりを持って規律正しく生活する学校づくりに全力で取り組む。

その具現化のために学力向上推進部、生活力向上推進部、健康・体力向上推進部の3研究推進部会が統一テーマを持ち、全教職員が一丸となって本校の課題解決に向けて全力で取り組み、研究を推進する。

研究推進システム

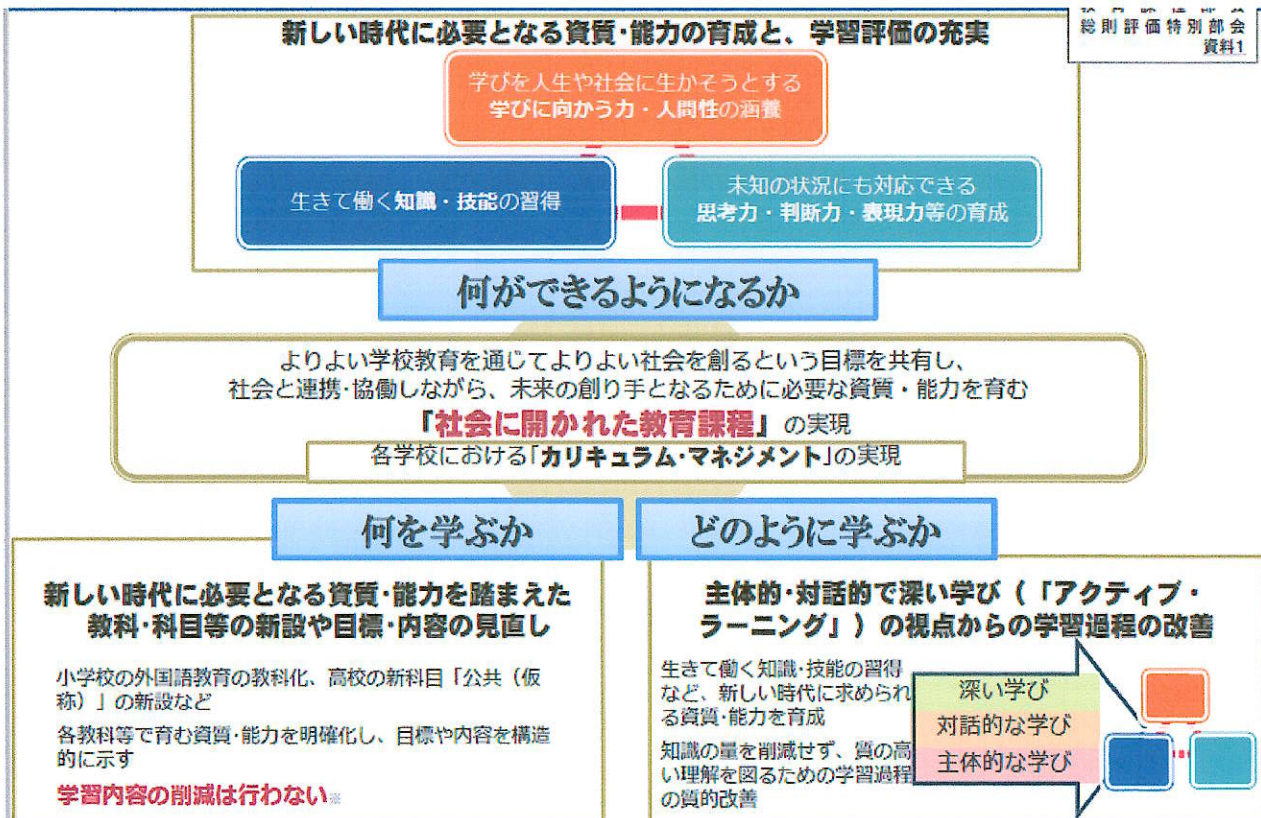
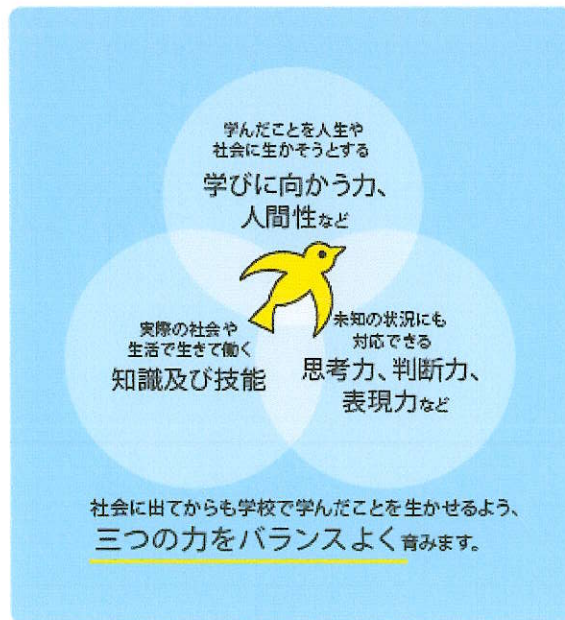


具体的方策

学級指導の工夫改善	自己教育力の育成	連携協力
<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の確立 ・ICTを活用した指導方法の実践研究と推進 ・支え合う学級集団の形成 ・グループ学習、机配置など学習形態の工夫改善 ・全授業を通じた学力育成 ・高学年での少人数指導 ・自学自習力を高める指導方法の実践研究と推進 ・全教員の研究授業公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間を大切にする学校生活 ・教え合い学び合う学習形態 ・学級会、児童会での自治活動 ・集団意識を高める学校行事 ・自己表現力と理解力を深める活動(俳句、劇、創作、合唱、発表等) ・家庭学習のための手引き作成 ・自己肯定感を高める全教科でのポートフォリオ等による資料保存 ・放課後自習、補習指導の充実 ・登下校、放課後、休日の生徒指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区小中学校4校の緊密な連携 ・学校と家庭との連携 ・安全監視や登校班でPTAとの連携 ・保護者講演会や学習会の実施 ・見守り隊、コミュニティの連携 ・いきいき広場と連携 ・外部評価の積極活用

【何ができるようになるのか】

子ども達に必要な3つの力 資質・能力 ・学習指導要領から



学習規律系統表

年	聞く	話す	書く
低 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ○話し手を見ながら聞く ○話は最後まで聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ○だまって挙手する ○指名されたら返事して立つ ○みんなに聞こえるように話す ・・・です ・・・だと思えます ○話し合おうとする ○聞き手を見て話す 	<ul style="list-style-type: none"> ○黒板に書いてあることをきっちり書く ○したことやわかったことを書く ○自分の感想を書く
中 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ○話し手を見ながら聞く ○話は最後まで聞く ○互いの考えの同じところ、違う所を考えながら聞く ○話し手の言いたいことを考えながら聞く ○わからないことははずね、さらに知ろうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ○だまって挙手する ○指名されたら返事して立つ ○最後まではっきり話す ○適切な声・言葉づかいで、筋道を立てて話す ○進んで話し合おうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の過程や自分の考えを書く <ul style="list-style-type: none"> ・わかったこと・思ったこと ・友だちの考えでいいと思ったこと ・考えの変化を書く ・気づいたこと ・これから気をつけたいこと
高 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ○話し手を見ながら聞く ○話は最後まで聞く ○友だちの考えと比べたり関係づけたりしながら聞く ○わからないことははずね、さらに知ろうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ○だまって挙手する ○指名されたら返事して立つ ○最後まではっきり話す ○適切な声・言葉づかいで、筋道を立てて話す ○速さや間を考えて話す ○声を相手に届けよう意識して話す ○人を傷つけない話し方をする ○話し合いの流れを意識し、進んで話し合おうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の過程や自分の考えを書く <ul style="list-style-type: none"> ・わかったこと・思ったこと ・友だちの考えでいいと思ったこと ・考えの変化を書く ・気づいたこと ・これから気をつけたいこと ・要点・まとめ

学習規律 【学年目標】

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1年 | しっかり聞く、しっかり話す。 |
| 2年 | はなしをしっかり聞き、自分の思ったことを伝える。 |
| 3年 | 話をしっかり聞き、自分の考えたことを発表する。 |
| 4年 | 話をしっかり聞き、相手を意識しながら自分の考えたことを発表する。 |
| 5年 | 話の要点をとらえて聞き、自分の思ったこと、考えたことを話す。 |
| 6年 | 話の要点をとらえて聞き、自分の言葉で相手に伝わるように話す。 |

「話の聞き方」

- あ… い手を見て
- い… い姿勢で
- う… なずきながら
- え… がおで
- お… わりまで

令和 6 年度の重点方針

令和 6 年度は、枚方市の教育理念を踏まえ、本校として、以下の6点を「重点方針」として取り組む。

1. 確かな学力と自立を育む教育の充実 …「知」
2. 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実 …「徳・体」
3. 教職員の資質と指導力の向上
4. 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実
5. 社会に開かれた学校づくりの推進
6. 学びのセーフティネットの構築

1. 確かな学力と自立を育む教育の充実…「知」	
<p><枚方市小中一貫教育推進事業の推進 四 中校区></p>	<p>めざす子ども像：「豊かな人間力と確かな学力を持つ子どもの育成」 教科等の部会を中心に小中の円滑な接続を図る。</p>
<p><学校運営></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の経営・運営方針の共有化を徹底し、機動力ある校務処理体制を確立し、組織的・有機的に課題解決にあたる。 運営：学校長→教頭→首席→企画運営委員会→各主任各分掌担当者→全教職員 ・学校企画運営委員会は教育目標の達成をめざし組織的・効率的に進めるため、学校運営に関わる諸課題や職員会議原案等について検討や調整を行う。 検討や調整の流れ：各主任各分掌担当者→首席→管理職→企画運営委員会→各学年→職員会議 ・各分掌担当者は、職員会議の年間会議予定をもとに1年間を見通して事前に計画立案する。提案事項は、首席と調整のうえ企画運営委員会に提出し検討を行う。 ・「評価・育成システム」「授業アンケート」「学校教育自己診断」を生かし、教職員の資質向上と学校の活性化を図る。
<p><確かな学力></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に即した適正な教育課程を編成し、適正に指導する。年間標準授業時数を上回る指導時間を確保し、指導内容の確実な定着を図る。 ・「Hirakata 授業スタンダード」(第 2 ステージ)に基づいた取組を学力向上担当者及び学年会において組織的・計画的に実施する。 ・ICT を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組むと同時に、カリキュラム・マネジメントの充実を図る。 ・多面的、多角的な評価を通し、指導と評価の一体化を図り、教育効果の向上に取り組む。 ・全国学力・学習状況調査、学期末テスト、学年末テスト等で児童の実態を踏まえ、「学力向上プラン」を策定し、全教職員で取り組む。 ・全ての教科等において、学習の基盤となる「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」等を学校全体の取組として育成し、知識・技能等を活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育てる。 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、教室がすべての児童にとって落ち着く環境になるようにする。 ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。(授業はもちろん、朝学習・全校一斉読書デー・一斉計算デーの取組・家庭学習等における自主学習の推進) ・5・6年生の算数科において、少人数指導を実施し、習熟度指導を中心にチームティーチング・単純二分割による指導により基礎学力の確実な定着と自学自習力を育てる。 ・デジタルテレビや電子黒板、書画カメラ、タブレット端末等の ICT 端末等を適切に活用した学習活動の充実及び情報活用能力(情報リテラシー)の育成を図る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・国の GIGA スクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末等の ICT を活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びを推進する。それにより、全ての学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成を図る。 ・情報手段の基本的な操作の習得に関する学習活動及びプログラミングの体験を通じて、論理的思考を身につけるための学習活動を、カリキュラム・マネジメントにより取り組む。 ・英語(外国語)教育については、外国語加配教員や英語指導助手を有効活用し体験的な活動を中心に、英語によるコミュニケーション能力(表現し、伝え合う力)を育む。 ・環境に関する身近な課題等を通して環境教育に取り組む。S-EMSとの関連を図る。 ・「読書が好きな児童」を増やすため、学校図書館の活用及び委員会活動等読書指導の充実に努める。
--	---

2. 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実・・・「徳」「体」

<道徳教育>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育推進教師を中心とした指導体制のもと、各教科等との関連を踏まえた指導計画を立て、道徳性(道徳的な心情、判断力、実践的態度など)を養う。 ・「特別の教科道徳」では、「自己のよりよい生き方についての考えを深めること」を重視した指導を進め、道徳ノートやワークシートを用い、適切な評価を行う。 ・保護者や地域社会に授業公開するとともに、社会性・人間性を育む教育活動のため、連携を図る。
<人権教育>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の身近な課題解決を行う中で、生命の尊さに気付かせ、お互いを大切にする態度や人格の育成を図り、人権教育を総合的に推進する。 ・自尊感情を育て、「児童が互いにつながり合い、支え合い、高め合う生活集団」の意識を高め、いじめ、からかい、差別、暴力行為等の根絶に努める。 ・児童虐待防止として、児童虐待防止主担者を中心に、子ども家庭センターや子ども総合相談センター(まるっと子ども)等関係機関との適切な連携のもとに未然防止・早期発見・早期対応に努める。 ・人権教育・平和教育に係る研修を充実させ、全教職員の人権意識や平和教育の意識を高め、日々の実践に生かす。平和教育の指導にあたっては、生命や平和の尊さについて、適切に指導するとともに、国際社会に貢献できる資質と態度を身につけさせる。
<体力向上>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国・大阪府体力・運動能力調査の結果を反映させた「体力向上プラン」をもとに、体育の授業を柱に、6年間を見通した体力向上の日常的な取り組みを進め、体力向上を図る。 ・体育活動における事故防止対策について、学校全体で指導の徹底をはかり、体育活動に適した環境の整備と、安全のためのルールやきまりを遵守を徹底していく。
<健康教育>	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」に関する意識を高めるため、「食育」の全体計画を充実する。また、日々の給食指導においては、個々の体質や成長の度合いに配慮しながら、好き嫌いなく食べる習慣を身につけさせ、残菜0をめざし指導に当たる。食への関心や理解を深め、保護者と連携・協力しながら食育を推進する。 ・食物アレルギー対応については、対応委員会を中心に、保護者との連携、全教職員での定期的な研修と共通理解場の設定を行い、誤配・誤食・誤飲等の根絶を図る。 ・安全・衛生管理を徹底し、感染症・食中毒の予防や熱中症等の事故防止に努める。感染症予防については、感染拡大防止のため、手洗い・うがい・咳エチケット・換気等の感染防止対策を指導する。 ・保健室の利用状況の分析等組織的な対応を通し、日常的な校内安全指導を徹底。

3. 教職員の資質と指導力の向上

<p><服務規律></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・服務規律の徹底を図り、保護者・市民の信託に応えるようにする。 ・ハラスメント行為や体罰等を断じて起こさないよう徹底する。 ・正確な会計処理、適正な公文書の受発処理と保管、個人情報の厳正な管理と取り扱いをする。 ・個人情報の適切な取扱い、管理・保管については、個人情報を取り扱う事の責任を自覚し、個人情報の流出や紛失、PCのウイルス感染を防ぐ。 ・教職員が、働きがいを感じ、誇りをもって職務にあたることができるよう、業務改善をすすめ、勤務時間を意識した働き方へと意識改革をはかっていく。
<p><研修></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として、自らの資質能力の向上に恒常的に取り組む。 ・学力向上推進部を中心に、組織的・計画的に校内研修を行い、指導方法の工夫・改善を図り指導力の向上に努める。(研究授業の設定) ・研究テーマ「伝え合う力の育成」⇒「表現する力」へ ・各経験者研修等を、組織的・計画的に実施し、ミドルリーダーの育成を図る。 ・若年教員の育成には、教育推進プランナーを活用し、組織的に推進する。 ・四中校区の教科部会等で研究を進める。(小中一貫教育) ・一人1授業(公開)で、全教職員の授業交流と指導力の向上を図る。 ・不祥事防止、食物アレルギー対応、高い人権感覚の育成、教科指導等、適切な校内研修を通して教員の資質の向上を図る。 ・学習指導要領に示されている「知識および技能の習得」「思考力・判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」が偏りなく実現されるよう、単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら、子ども達の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいく。

4. 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

<p><支援教育></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内組織体制を整備し、児童・教職員・保護者・地域に対して支援教育の理解と啓発を推進し、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた取組を推進する。 ・支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会や全体の場で共通理解し、必要に応じて、教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、全校的な支援体制のもとに継続した指導の充実を図る。 ・合理的配慮の観点から踏まえた支援教育に取り組むため、タブレット端末等のICT機器の有効活用を推進する。 ・障害者理解教育、多文化共生教育を進め、好ましい人間関係の育成を図る。 ・支援を必要とする児童に対しての適切な指導方法についての研修を実施する。 ・障害のある児童の人権を尊重することを基本に、障害者理解を進める教育を実施し、人権意識の向上及びいじめ等による人権侵害事象等の未然防止を図る。 ・支援学級と通常学級における、交流活動や共同学習を充実させ、相互理解のさらなる推進につとめていく。
---------------------	--

5. 社会に開かれた学校づくりの推進

<p><社会に開かれた学校づくり></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童・生徒が抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みを構築し、コミュニティスクール等における学校運営委員との連携のもと、学校・家庭・地域が協働し、地域で守り育てる児童を目標とした地域とともにある学校づくりに努める。 ・学校は適切な情報発信、地域行事への参加に努め、共通理解のもと適切な連携を図る。 ・校区福祉委員会、青少年指導部会、地域老人会、地域子ども会等との連携を継続し、学校での児童との学習活動、高齢者ふれあい活動、福祉・ボランティア活動、枚方子どもいきいき広場活動、特別活動等の教育活動が活性化するように積極的に働きかけ、学校と地域の活性化に努める。 ・校門の安全監視、校区見守り隊、子ども110番の家、ただいまパトロール中ステッカー、校区安全マップ、児童個人安全マップの作成等により、学校・家庭・地域が連携して安全対策を実施し、安全・安心して生活できる環境作りを推進する。 ・学校からの情報発信として学校HPやブログ、情報配信メール等の活用を推進する。 ・家庭や地域と連携した教育活動の推進及び児童の健全育成を図る。
-----------------------------	---

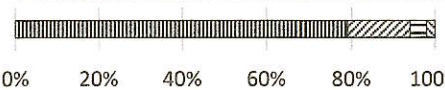

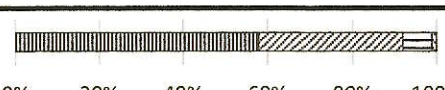


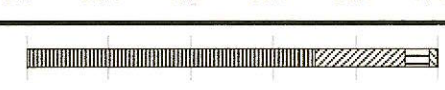
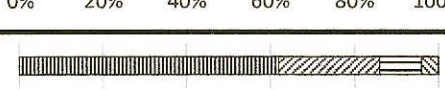
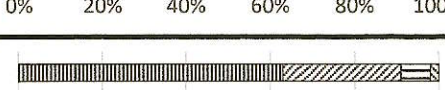
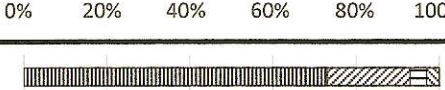
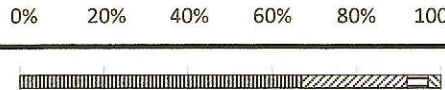
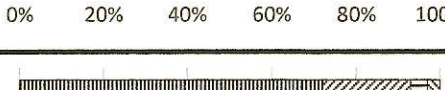
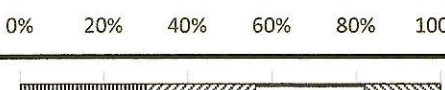
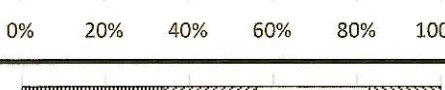
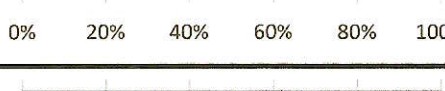
	「学校の手引き」「家庭学習の手引き」を配付し、一層の理解と協力関係を深める。
6. 学びのセーティネットの構築	
<生徒指導>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童理解と指導力の向上を図り、教職員相互の共通理解と認識のもとに、生徒指導主体者を中心に組織的な生徒指導を行う。 ・問題事象が発生した際には、ケース検討会議を招集し、状況を的確に把握するとともに迅速な初期対応に努める。 ・いじめ・不登校、問題行動等を出さない学級・学校づくりをめざすため、養護教諭や支援学級担任、心の教室相談員等を含めた全教職員で、チームとして児童及び保護者に寄り添う体制を整える。 ・いじめ問題については、「いじめは絶対許さない」という毅然とした姿勢で指導にあたる。また、道徳教育・人権教育を中心に子どもの豊かな心と実践力を育成すること、子どもと教員との信頼関係を築くことを通して「いじめを起こさない学校」を推進する。いじめ事案が発生したときには、迅速な初期対応に努める。「枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)」「山之上小さいじめ防止基本方針」を活用し対応する。
<安全教育>	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3領域について外部講師による授業の実施及び避難訓練や日常的な啓発により、自分の身は自分で守る意識の形成を図る。 ・常に危機管理マニュアルの改善を図り、児童の命を守るための連絡体制及び安全管理体制を確立する。特に、大阪北部地震及び東日本大震災を教訓に、マニュアルの見直しを図り、児童の適切な安全確保に努める。 ・防災訓練や防犯訓練を実施し、教職員の危機管理意識の向上と学校安全に関する校内体制の整備に努める。また、児童に関わる自然災害時の被害や不審者犯罪、学校事故、交通事故等の未然防止に努める。 ・安全対策活動のさらなる周知に努め、地域・家庭・学校・関係諸機関が緊密に連携して、児童の安全な生活環境の確保に努める。 ・学校施設・設備は毎月1回の安全点検を実施し、異常や危険箇所の早期発見と早期修繕に努める。 ・児童が安全な生活を送る能力や、様々な危険に適切に対応できる能力を育てる安全教育を行う。 ・アレルギー疾患のある児童には、アレルギー疾患ガイドラインや学校給食における食物アレルギー対応マニュアル等を参考に、家庭・医療機関と連携し、養護教諭、栄養教諭、全教職員、調理員と協働して事故の防止に努める。 ・安全・衛生管理を徹底し、感染症・食中毒の予防や熱中症等の事故防止に努める。特に、インフルエンザについては、感染拡大の防止を図るため、手洗い・うがい・咳エチケット・換気等の感染防止対策を指導する。 ・校内安全指導を徹底し、保健室の利用状況の分析等組織的な対応を通し、日常的指導を強化する。
※ その他の取り組み	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に案内のあるコンクール等を児童に紹介し、個性の伸長を図る。 ・市主催行事への参加。 ・枚方市漢字をテーマに思いを伝える作文コンクール・枚方市お弁当コンテスト ・枚方市平和ポスターコンクール・敬老の日作文コンクール・枚方市明るい選挙ポスターコンクール・枚方市菊花展等。 ・外部講師の出前授業や地域人材の活用を図る。 租税教室・非行防止教室・防犯教室・リコーダー教室・交通安全教室 等 ・児童集会や児童会活動等を活用し、児童の活躍の場を設定し、異学年の交流を通じた自主性及び自尊感情・自己有用感の育成を図る。 ・枚方市 S-EMS 事業に積極的に取り組む。環境教育の一環として、ゴミの分別に日常的に取り組む、清掃指導の徹底を図り、清潔で気持ちのよい学校環境作りに努める。 ・あいさつのあふれる明るくきれいな学校づくり。

全学年児

令和5年度 学校教育自己診断のアンケート結果について

A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

	項 目	結 果				
		A	B	C	D	
1	学校へ行くのが楽しい。	55%	29%	11%	5%	
2	楽しく遊べる友達がいる。	82%	12%	3%	3%	
3	給食の時間は楽しい。	62%	26%	10%	2%	
4	先生の授業は、わかりやすい。	61%	29%	7%	3%	
5	先生の説明や指示は、はっきりしてわかりやすい。	56%	34%	9%	1%	
6	大型テレビやプロジェクタ、コンピュータを使った授業は、わかりやすい。	61%	28%	10%	1%	
7	授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている。	63%	28%	7%	2%	
8	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている。	63%	27%	8%	2%	
9	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている。	58%	29%	10%	3%	
10	授業の最後に、学習活動を振り返る活動をよく行っている。	54%	32%	10%	4%	
11	落ち着いた雰囲気(ふんいき)の中で、授業を受けることができる。	37%	35%	20%	8%	
12	読書の時間は、楽しい。	73%	14%	8%	5%	
13	体を動かして、運動や遊びをがんばっている。	68%	21%	8%	3%	
14	学校の遠足や社会見学は楽しい。	82%	11%	4%	3%	

15	学校の行事(運動会や遠足)は楽しい。	79%	15%	4%	2%	
16	学校のクラブは楽しい。(4年生以上)	66%	20%	7%	7%	
17	チャイムを守って行動している。	55%	35%	8%	2%	
18	命を大切にし、人への思いやりを持って行動している。	58%	34%	7%	1%	
19	地震や台風などのとき、どうしたらよいか教えてもらっている。	70%	22%	5%	3%	
20	先生は、みんなの意見や考えを大切にしてくれる。	75%	19%	4%	2%	
21	先生は、困ったときに相談にのってくれる。	70%	22%	6%	2%	
22	先生は、勉強でわからないところを教えてください。	67%	24%	5%	4%	
23	先生は、がんばったらほめてくれる。	62%	24%	10%	4%	
24	先生は、私たちとの決まりや約束を守ってくれる。	63%	28%	7%	2%	
25	先生は、いじめのない学級づくりに取り組んでくれている。	73%	20%	4%	3%	
26	先生のつける通知表(あゆみ)はわかりやすく、はげみになっている。	67%	25%	5%	3%	
27	先生は、よりよい学級をめざし努力している。	72%	21%	4%	3%	
28	家で、学校の授業の復習をしている。	30%	26%	26%	18%	
29	家では、自分で計画を立てて勉強している。	34%	22%	27%	17%	
30	自分にはよいところがあると思う	48%	31%	13%	8%	

令和6年度 学力向上プラン

学校長の「確かな学力」への構想（イメージ）

- ・集団力の発揮（組織的な学力向上＝学校全体での取り組みを意識）
- ・基礎基本を大切にしたい。（基礎的な学力の定着“読み・書き・計算“）
- ・楽しく継続する学び。（意欲的な学びと継続する学び。）
- ・「書く力」に重点を置きたい。⇒「書く」ためには、考えを持つからスタート。

研修テーマ

意欲的に学び、自分の考えを持ち、表現する子どもの育成

～（各学年の考える「1人1人が自分の考えを持つ手立て」）～

※サブタイトル部分については各学年が、算数科を中心に研修テーマに沿った子どもの育成のために学年で取り組んだ目標を記入する。

研修教科

- ・算数

理由) 昨年度の反省より「教科をしぼった方がよい。」という意見多数。

全学年で取り組める。系統性もあり、研修を行いやすい。

研究の仮説

算数科において、児童が思考したり、考えたことを伝えあったりできるような活動を工夫し、繰り返し積み上げていけば、児童は自分の考えをもち、表現できるようになるであろう。

研究内容

1：基本的な考え方

☆「自分の考えをもち、表現する子ども」とは

児童は課題を与えれば、自然に考えるわけではない。示された課題に対して、興味をもってなかったり、見通しが立たなかったりすれば、「考えよう」とはしない。教師の指示を待っている限り、児童の思考は活性化しない。「自分の考えをもち」とは、既習事項を活用して、解決への見通しもつことであると捉える。「何となくそう思う」ということではなく、既習事項を根拠として、見通しが持てるということである。そのためには、児童が「知っていることや前に学習したことを使えば、自分の力でも解決に向けて進んでいけそうだ」と児童に思わせるような問題を提示し、ねらいに沿っためあてをもたせる工夫が必要であると考えます。

「表現する」とは、めあての達成に向けて見通したことを、図、式、表、グラフといった数学的な表現の方法を用いて、表現することをいう。また、それらを言葉にして友だちに説明したり、友だちの考えを聞いて理解したことを自分で説明したりすることである。そのためには、児童が授業の中で表現する機会を多く与え、繰り返していく必要がある。

見通しをもって考え、考えたことを表現したり、考えを伝え合ったりすることで、考えを広げたり、深めたりすることができる。そのため、「自分の考えをもち」ことと「表現する」ことは、互いに補完し合う関係にあるといえる。

安心して
学べる
仲間づくり

家庭学習
との
つながり

Hirakata 授業スタンダード

～教師主体の一斉授業からの脱却、「教え」から「学び」への転換～

教材研究
指導スキル
の向上

学習指導
要領の
理解

学習の見直し
本時のめあてを提示し、
学習の見直しを持つ活動がある

驚きや不思議さ、必要感や不都合感のある、
思考を促す課題を効果的に示します。
子どもに授業の流れをつかませ、
課題解決に向けた見直しをもたせます。



じっくり考える活動
一人で考える時間がある

じっくり考える時間を確保し、ひとりひとりに
自分なりの考えをもたせ、
自分で考えたことを根拠とともに
タブレット端末やノート等に
書かせ、整理や自己検証をさせます。



授業計画時に大切にしたい
5つのCの視点

Challenge チャレンジ・挑戦
学校生活の中で、課題を解決したり、目的を達成し
たりするために、困難な問題や未経験のこと等に
積極的に取り組みます。また、自分自身で新たな課
題を発見します。

Communication コミュニケーション・対話
相手の立場を考慮しながら、自分の考えを相手に
わかりやすく、効果的に伝えます。また、相手の意
見や考えを正しく理解するために傾きます。

Collaboration コラボレーション・協働
課題を解決したり目的を達成したりするために、自
分と異なる考え方を持つ人を尊重し、認め合いな
がら協力して取り組みます。

Creativity クリエイティビティ・創造
課題や目的を解決するための柔軟なアイデアを
表現します。また、アイデアを相手と共有すること
で、より深まりのあるアイデアを創り出します。

Critical thinking クリティカルシンキング・批判的
物事を多面的な視点でとらえながら、調べた内容
や相手の意見等の情報を正しく判断するために、
その理由や事実と矛盾がないかどうかについて、
自ら考え、分析し、判断します。

めざす子どもの姿、
つけたい力を明確にした
逆向き設計の単元指導計画

家庭学習と学校での学習を
シームレスにつなぎ、
単元を通じた学習活動の充実を

まとめ・振り返り

交流し、深める活動



まとめ・振り返り
授業をまとめたり、
振り返る場面がある

学習したことのまとめや振り返りを板書、発表、
確認問題等で共有します。
振り返りの気づきや新たな課題を引き出し、自分の
言葉でタブレット端末やノート等に根拠とともに
書かせます。

交流し、深める活動
交流する時間がある

(目的に応じてペア・グループ・全班等で)納得感や
最善解を検討する場をつくれます。
捉え方や考えの違いから内部認知や新たな発見を促し、
自分の考えを再構築させます。

「じっくり考える活動」や「交流し、深める活動」を効果的に繰り返し、往還することや、子どもたちが選択しながら活動することが大切です。

今年度の取り組み

1：校内研究の充実（組織的な学力推進）

- ・いつでも教室で授業が見られる雰囲気づくり（校内体制）
- ・ステップアップ研修（初任者研修と兼ねる校内研修）
- ・事前検討会の実施＋研究協議会の運営（グループ毎に行う。）
- ・研修通信の作成

2：朝学習の見直し

- ・朝学習を学校全体で揃える（内容・日にちなど…）
Ex)月：国語 火：算数 水：読書 木：国語 金：思考ツール DAY

3：自主学習の推進

- ・校内で自主1 グランプリの実施
- ・校内掲示の充実 Ex) 保健室前に自主1 グランプリの取り組みなどを掲示)

4：校内研修（R-PDCA サイクル Rの充実）

- ・校内で子どもたちの状況把握を行う研修を実施する。

Ex) 山之上小学校の子どもたちの「伸ばしたい力」とは？「子どもたちの課題とは？」「子どもの強みは？」

- ・学期1度のアンケートの実施
- ・学力テスト・学期末テストの振り返り

(参考資料)

山之上小学校 体力向上プラン

<全国体力測定・体育に関するアンケートから見えてきた本校の課題>

- 男女ともに上体起こしと立ち幅跳びとシャトルラン、長座体前屈の項目(男子はソフトボール投げの項目も含む)で全国平均の値を上回るのに対し、それ以外の項目では全国平均の値を下回っている。
- 運動が好きだという割合が大きい一方で、運動が大切と考える児童の割合は全国より低い。
- スポーツクラブ以外で運動する時間は全国より10%以上低くなっている。

体育の授業力の向上

領域別系統表の拡大
柔軟性を高める運動の導入
ストレッチ体操の導入
教師の研修
(水泳指導について)

環境整備

運動場のトラックのライン
体育倉庫の整備

食育の取り組み

目標・年間計画に沿って食育を進め
食に対する意欲を高める。

日常的な取組

<マラソン週間>
11月中旬にマラソン週間を行う。
<体育館の開放>
雨の日の体育館の開放

体力測定

5年前からの体力テストの実態を
集約・分析し、体力向上に生かして
いく。

家庭との連携

家庭で楽しくできる体力作りや瞬
発力を高める運動を紹介し、家庭
でも積極的に取り組めるようにす
る。

【目標】

「体を動かすことを楽しもう!! 山之上っ子」

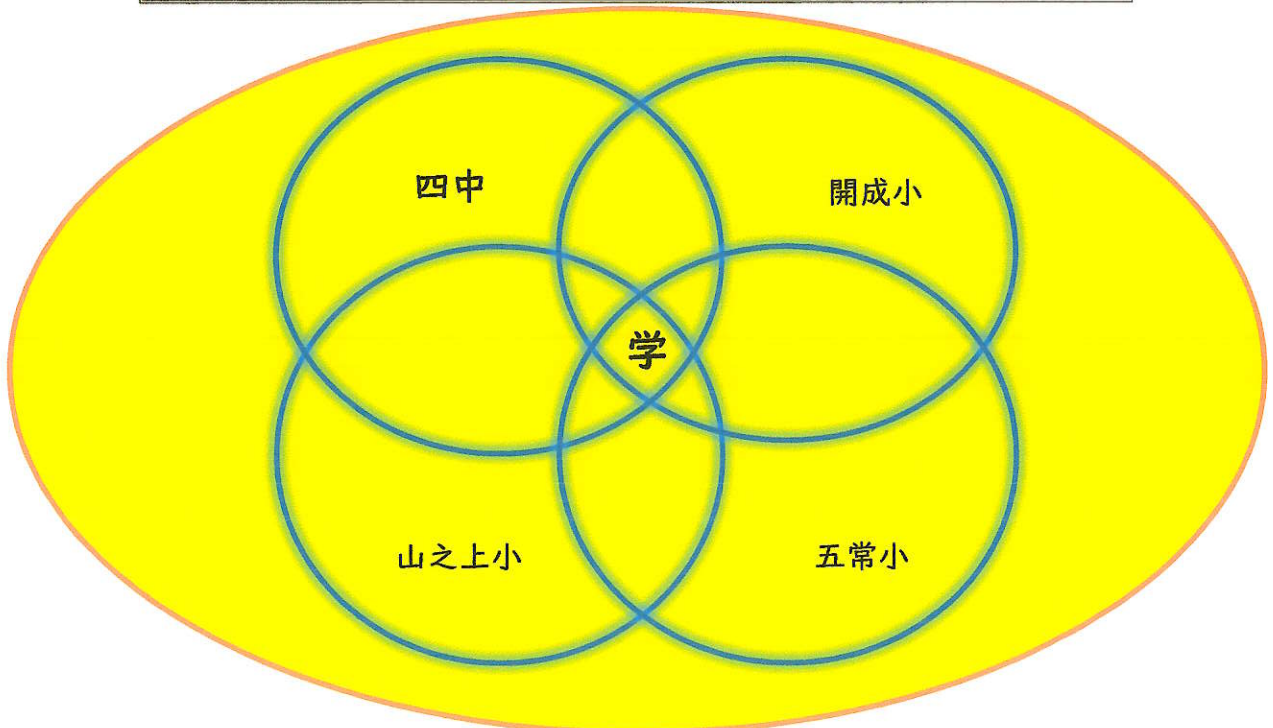
—柔軟性・持久力の向上をめざして—

令和6年度 枚方市小中一貫事業

四 中 学 園

めざす子ども像

豊かな人間力と確かな学力を持つ子どもの育成



本年度の取り組み

- ◎確かな学びの育成
- ◎自立の力の育成
- ◎小中学校間の円滑な接続
- ◎共同体組織の構築
- ◎特色ある一貫教育の推進
- ◎事務連携の推進

つながれ子ども！ つながれ大人！ つながれ四中学園！

四中学園 キャリア教育全体指導計画

めざす ハタチ像	自分らしく まわりとつながり 何事にもチャレンジする								
学 年	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
発達段階の目標	なかよしになろう (関心をもとう)		友達と協力しあおう (関わりを深めよう)		自己を生かそう (自分を大切に)		自己を見つめる	達成感を味わう	進路を切り開く
つけた い力	つながる わかる		つながる チャレンジ		つながる わかる きめる		つながる わかる きめる	つながる わかる えがく	つながる きめる えがく チャレンジ
活動名	・給食がはじまるよ ・みんなみんな大すきだよ	・ともだちをつつろう ・ともだちを知ろう	まちたんけん	1/2成人式	わが国の産業	修学旅行の取り組み	ドリームマップ キッズニア 職業講話 YO・YK	職場体験 YO・YK	保育体験 進路選択 YO・YK
目的	・給食当番としてそれぞれが役割を果たすことの大切さを知る ・家の人の仕事を知る	・自分以外の他者を知り、なかよくなれる。	働く人の仕事を理解し、仕事の楽しさや苦労を知る	10年間の成長を振り返り、感謝する	私たちの生活を支える仕事やその工夫を知る。	平和の大切さ、命の尊さを知り	将来について考える	仕事について考える	自己の進路について考える
活動内容	・給食当番としてそれぞれが役割を果たす。 ・家の人の仕事調べ自分ができることをやってみる	・ともだちのいいところみつけ	地域のスーパーや施設の様子を見学する スーパーで働く人の仕事を見学する	これまでの成長の足跡を家族から聞き取る 聞き取ったことをもとにファイルにまとめる これからの目標や家族への感謝の気持ちを表現する 10歳の記録として製本する 参観での発表	・バケツ稲づくり ・自動車工場見学 ・新聞社見学	・社会科で戦争について学習する ・ヒロシマについて調べ学習をする ・原爆被害者の会の人々の話を聞く	将来の姿を考える 仕事の話や聞き 仕事擬似体験 表現活動	仕事体験 表現活動	保育体験 進路選択
期待する子どもの変容 目的達成に向けたポイント	・自分の役割を知り仕事をやりとげようとする。 ・家族の一員として自分ができることをしようとする。	・他者を認め、なかよくしようとする。 ・遊びの中から、他者を知る。	校区のスーパーや施設の人々に関心を持つことができた	保護者への聞き取りをすることで喜びや大変さを共有する 10年の区切りとして感謝の気持ちを伝える	稲を育てる体験や工場、新聞社等の見学を通じ、私たちの生活を支える産業を知り、そこで働く人の工夫や姿勢に興味を持つ。	修学旅行に向けての学習を通じ、命と平和の尊さを知り、家族や仲間を思いやる心をそだて、将来の自分について考えられる力を持つ。	将来の姿や仕事について考え、社会を見つめることができる 表現の探求により社会の仕組みを感じる	実際の仕事に触れ、社会の仕組みを理解する表現の探求により社会の仕組みを感じる	保育に触れ、自己理解から進路選択ができる 表現の探求により社会の仕組みを感じる

【未然防止のための学校体制】

未然防止のための学校体制

いじめ・虐待・不登校対策委員会

校長 教頭 首席

該当担任 該当学年主任

養護教諭

その他関係職員（生活指導主担者、人権担当など）

心の教室相談員
スクールカウンセラー
→状況に応じてアドバイスをもらう

関係諸機関と連携

指導方針・役割分担

支援

校内全体（全教職員）

指導・支援

被害幼児児童	加害幼児児童	周りの児童
保護者	保護者	

市の児童相談所・枚方市教育支援センター・教育委員会・枚方警察署
子ども家庭センター・医療機関

山之上小さいじめ対応マニュアル

いじめを起こさない学校づくり	いじめ問題の対応
<p>「いじめは絶対許さない」</p> <p>—いじめにつながる小さな問題の解決をめざす—</p>	<p>「いじめは絶対許さない」</p> <p>—早期発見・早期対応をめざす—</p>
<p>いじめ・不登校防止対策委員会</p> <p>○管理職 首席 生徒指導担当者 人権教育担当者 該当学年 養護教諭 担当者 心の教室相談員 対応方針の決定と確認、専門家・関係機関との連携を通して、いじめ防止等の取組、対応を検討する。</p> <p>いじめ相談窓口 相談体制</p> <p>○相談窓口を設置し、児童・保護者に周知する。 必要に応じて、第四中学校のスクールカウンセラー、枚方市の相談機関を活用し環境を整える。</p>	
<p>○子どもの豊かな心と実践力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育 思いやり・友情・生命の尊重・正義・公正公平及び実践力の育成 授業で、「いじめを許さない」心を育てる 山之上小心の教育の日「道徳の時間」公開 保護者との協力関係の形成 ・人権教育 自尊感情を高め「いじめを許さない」「いじめをなくしていこう」という態度の育成 ○学級・学校の集団づくり いじめを許さない集団と信頼関係の構築 ○児童を大切にす教師（信頼関係を築く） <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの良さを認め、伸ばす教師 ・子どもたちの意見をきちんと受け止める教師 ・明るく丁寧な言葉つかいで接する教師 ○重点指導 <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、言葉つかいが適切にできる子 ・そうじを一生懸命する子 ・正しい言葉遣いができる子 ・礼儀・マナーが正しくできる子 ・学校・生活・授業のきまりを守る子 ○その他の未然防止の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・児童集会での教育 校長・生徒指導担当者からの計画的な指導 生命の尊重 思いやり・親切 誠実 勇氣 ・学期に一度のアンケート実施 ・児童会活動 自分たちの力で学校生活を向上させよう 児童会まつり 児童の主体性を大切にし、達成感を体得する ・学校行事 	<p>○いじめ事案の認知 迅速な初期対応</p> <ol style="list-style-type: none"> ①校長による対応の指示 ②正確な事実確認と心のケア 被害児童への聞き取りと加害児童への聞き取り ③市教育委員会に把握した事実を、随時報告し相談情報の共有 対応方針の決定と確認 専門家・関係機関との連携 関係教職員の役割分担 被害児童・保護者への対応 加害児童・保護者への対応 学級・学校全体への指導 (必要に応じてケース会議) ④被害児童への対応 ケース会議 心身状態の見立て 解決に向けた目標設定と方策 (見守り、相談体制、心身の安心安全を最優先) チームとして具体的な取組 ⑤加害児童への対応 ケース会議 行為の背景や原因への見立て 解決に向けた目標設定と方策 (責任だけでなく、子どもの思いを十分に聞き取る) チームとして具体的な取組 ⑥再発防止に向けた継続的な取組 被害・加害児童への継続的な支援・指導 再発防止に向けた教育活動全般の見直し ⑦枚方市教育委員会等との連携 「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」 「枚方市学校いじめ対策審議会」 「枚方市いじめ再調査委員会」 枚方市、枚方市教育委員会、子どもの育ち見守りセンター、中央子ども家庭センター、警察、法務局など

山之上小いじめ防止年間計画

	児童・保護者	学 校
通年	心の教室相談 委員会・クラブ活動 入学式、対面式 児童・保護者に相談窓口周知 学級懇談会（担任保護者顔合わせ）	心の教室相談/登校指導/通信の発行 （学校・学年・学級・給食・保健等）/ 四中学園各部会/地域会合等への出席 校内研修/人権支援生指に関する情報 共有の会
4月	家庭訪問 校外学習 授業参観（2日間に分ける）	部会にていじめ防止対策と生活指導交 流会・職員会議で生活指導交流会 「学校の手引き」「家庭学習の手引き」
5月	土曜授業 5年キャンプ	人権支援生指全体会 部会にていじめ防止対策と生活指導交
6月	アンケート実施	流会・職員会議で生活指導交流会
7月	個人懇談会	部会にていじめ防止対策と生活指導交
8・9月		流会・職員会議で生活指導交流会 アンケートの集約と対応
10月	運動会 校外学習 6年修学旅行 アンケート実施	部会にていじめ防止対策と生活指導交 流会・職員会議で生活指導交流会

11月		部会にていじめ防止対策と生活指導交流会・職員会議で生活指導交流会
12月	個人懇談会	部会にていじめ防止対策と生活指導交流会・職員会議で生活指導交流会
1月		部会にていじめ防止対策と生活指導交流会・職員会議で生活指導交流会
2月	保育園児との交流 授業参観	部会にていじめ防止対策と生活指導交流会・職員会議で生活指導交流会
3月	6年生を送る会 卒業証書授与式	部会にていじめ防止対策と生活指導交流会・職員会議で生活指導交流会 アンケート集約と対応

※「道徳教育」「人権教育」「総合的な学習の時間」「特別活動」を中心に自尊感情を高め、いじめを許さない態度を育成する。

※「山之上小いじめ対応マニュアル」（別紙）に取組み、いじめを起こさない学校づくりをめざし、早期発見・早期対応を組織的に行う。

1年生入門期 スタートカリキュラム

枚方市立山之上小学校

●第1週目（ねらい：学校生活のきまりを知る、1日の流れを知り学校に慣れる）

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
朝	○登校時の身支度 ランドセルの片付け ロッカー、フックの使い方 連絡帳・手紙の提出 ○朝のあいさつ	○朝の準備	○朝の準備	○朝の準備	○朝の準備
1	○トイレ・手洗いの使い方 ○座り方・挙手の仕方	○お道具箱のチェック ○机の中の確認 ○粘土・粘土板の確認	○並び方の練習 ○手紙の確認 ○鉛筆の持ち方 ○教科書の確認	○鉛筆の持ち方確認 ○書写→運筆練習 ○学級目標設定	○鉛筆の持ち方確認 ○書写 →運筆練習 名前の確認 ○学級目標設定
2	○下校時の並び方 ○プリントの配り方 ○帰る用意	○出席番号と並び方を覚える。 ○体操服の着脱練習 ○帰る用意	○地区児童会 ○帰る用意	○自己紹介 ○帰る用意	○2測定 ○給食事前指導 ○帰る用意

●第2週目（ねらい：1日の流れを知り学校に慣れる、学校における活動を広げる）

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
朝	○朝の準備	○朝の準備	○朝の準備	○朝の準備	○朝の準備
1	○国語 →ひらがな学習	○対面式	○国語 →ひらがな学習	○国語 →ひらがな学習	○国語 →ひらがな学習
2	○給食事前指導 →給食ルール 当番の確認 エプロンの着脱	○国語 →ひらがな学習	○生活 →自己紹介	○体育 →体操服着脱練習 遊具の確認	○図工 →粘土遊び
3	○算数 →仲間づくり	○算数 →仲間づくり	○算数 →仲間づくり	○算数 →仲間づくり	○算数 →仲間づくり
4	○給食準備 ※早目の準備 ※下校準備も早目	○給食準備 ※早目の準備 ※下校準備も早目	○給食準備 ※早目の準備 ※下校準備も早目	○給食準備 ※早目の準備 ※下校準備も早目	○給食準備 ※早目の準備 ※下校準備も早目

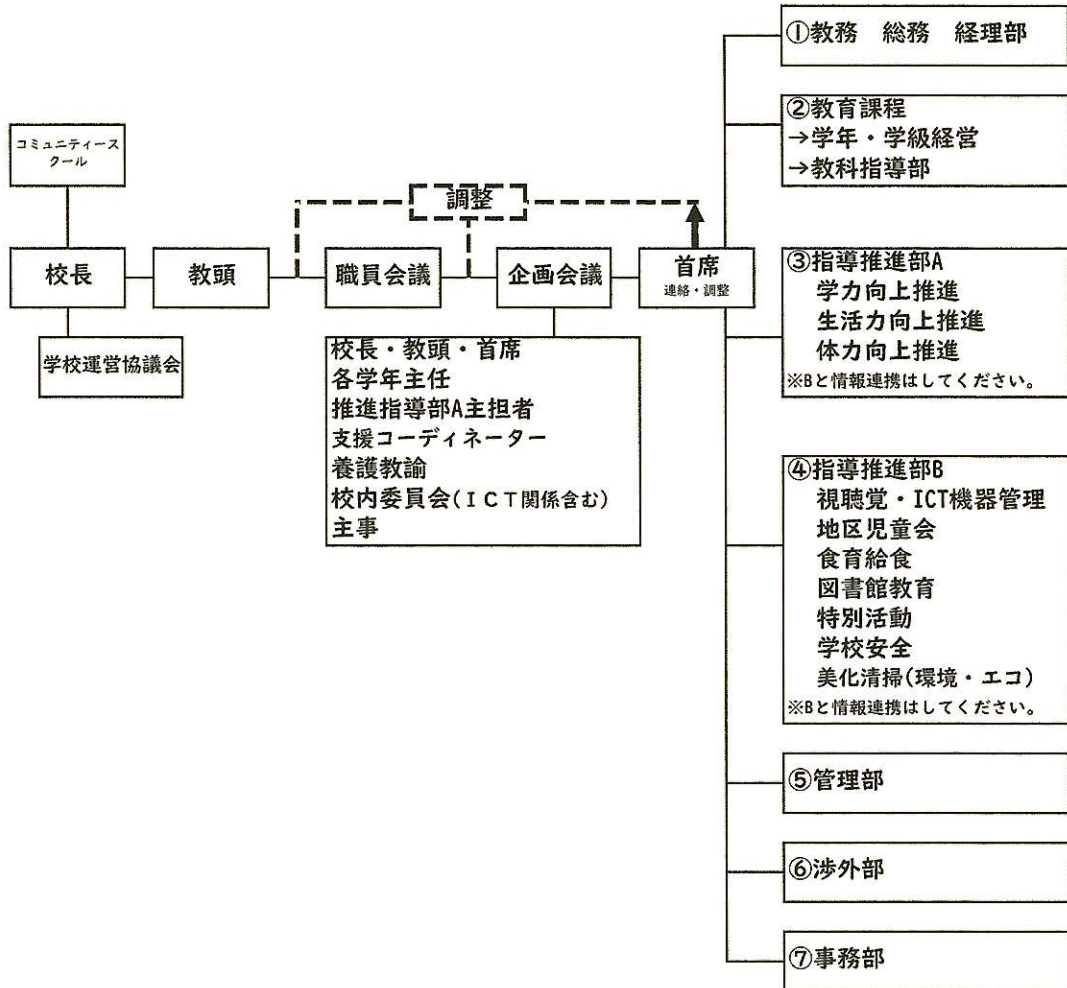
職員構成

担当	氏名	備考
校長	北村 雄一	ハラスメント・体罰相談窓口
教頭	下司 順平	衛生推進者 児童虐待対応主担者 情報セキュリティ ハラスメント・体罰相談窓口
首席	秋月 良太	生徒指導主担 初任期職員Co 小中一貫推進Co コミュニティースクール ハラスメント・体罰相談窓口
担任外	上田 優成	5・6年理科 体力向上主担 ICT環境整備
	永野 由希	少人数指導 5・6年算数 学力向上推進Co
	ゴドフリー ニコラ メアリー	英語専科
	安江 陽奈子	4・5・6年音楽
指導栄養教諭	田中 理那	食育主担 ハラスメント・体罰相談窓口
養護教諭	土田 修子	保健主事 ハラスメント・体罰相談窓口
臨時技師	服部 百華	栄養教諭補助
学校事務	清水 相子	主事
支援学級	千原 寛子	
	杉長 由章	
	増田 香里	支援教育コーディネーター 保幼小連携担当
	林 晶子	
	月形 萌佳	
	櫻井 敏郎	
	築地 綾子	
	川口 晴美	介助員
	馬場 さやか	支援補助員
	澤田 妃都美	支援補助員
	里見 文香	支援補助員
西島 晃太	支援補助員	
1年1組	香西 美抄	学年主任 学校安全担当 人権教育主担
1年2組	塚田 ゆり	
1年3組	金関 裕志	
2年1組	坂田 和昭	
2年2組	荻野 真帆	
2年3組	宮田 康弘	学年主任 図書館教育主担 (司書教諭)
3年1組	寺本 由季	道徳教育推進教師
3年2組	中道 千乃	
3年3組	武田 真萌	
3年4組	大隅 健巳	学年主任
4年1組	松浦 美幸	学年主任
4年2組	雲川 育子	
4年3組	北村 絢子	
4年4組	井上 悟	生活力向上主担
5年1組	村中 章彦	学年主任 学力向上主担
5年2組	柴田 宗彦	
5年3組	新居 加奈	
6年1組	里 康幸	
6年2組	土居 裕美子	
6年3組	上村 健太	学年主任
非常勤講師	桑原 英代	3年国工・4年書写 (首席負担軽減非常勤講師)
	田丸 浩二	支援学級 (支援教育コーディネーター充実事業講師)
心の教室相談員	吉田 素子	
校務員	坂本 泰敏	
調理員	如月 スアン	
	塩川 美代子	
	西田 佐知	
	山端 佐地子	
学校施設 管理人	三浦 勝	
	岡田 啓二	

校医	内科	榮樂 周子・堀内 俊幸	耳鼻科	伊藤 尚
	歯科	紺田 敏之・篠原 茉莉	眼科	衣川 康弘
学校薬剤師		竹原 潤		

校務分掌

(1) 組織図



(2) 校務分掌

① 教務部

沿革史	教頭
日課 (日課表 週時程 教育計画 時間割り 授業時数 学校要覧 月中行事 学校行事 補教割り当て 自己計)	教務・教頭
調査統計 (基本統計 各調査)	教務・教頭
学籍 (各公簿整理保管: 指導要録 抄本 出席簿 健康診断票 歯科検診票 証書台帳 会議録等)	教務

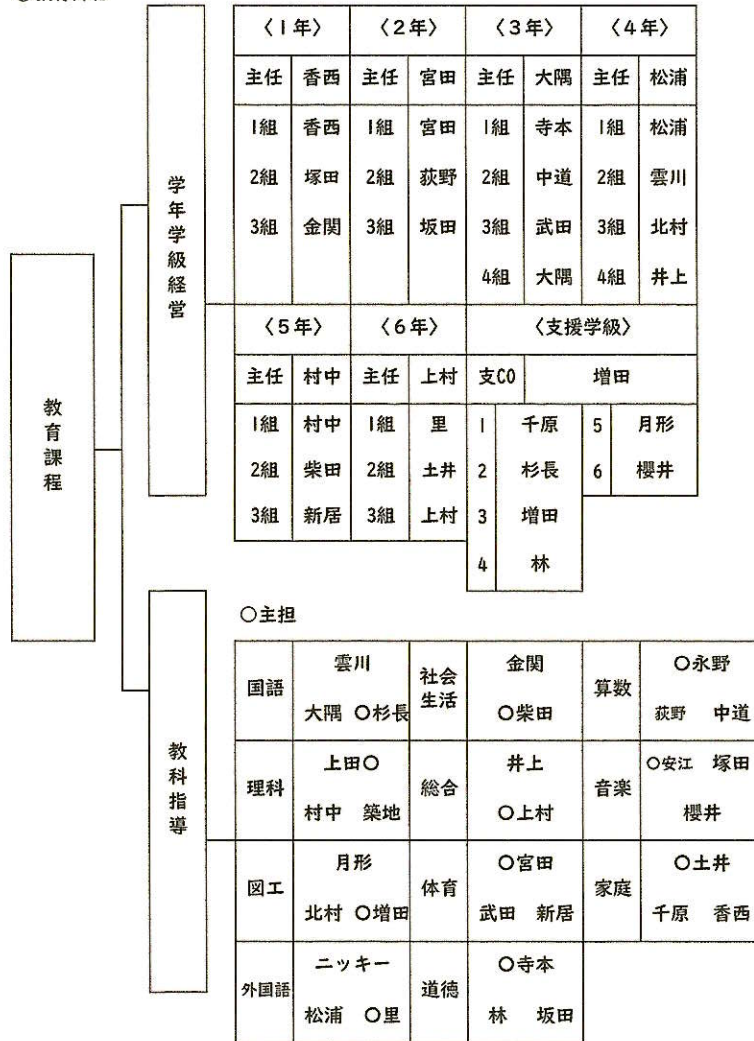
総務部

庶務 (出勤簿 年休簿 学校日誌 出張簿 職員録 連絡網)	教務・教頭
文書 (公文書 履歴書) 教頭・事務 図書台帳: 司書教諭	
保健 (保健関係事務 保健調査 医療券 保険申請 養護日誌)	養護助教諭・教頭
調理場 (調理場諸連絡 日誌)	栄養教諭

経理部

研修費関係 施設開放日	教頭
-------------	----

②教育課程



③ 指導推進部
◎部会主催者

学力向上推進部

部会構成員		金関 萩野 中道 北村 村中○ 土井 杉長 櫻井 永野 森山
分掌内役割分担	テスト分析	土井 杉長
	ICT (NAVIMAなど)	土井 櫻井
	ステップアップ研修	森山 中道
	基礎学力向上	金関 武田
	自主ワ ン みんなノート	萩野 北村

指導推進部 A

生活力向上推進部

部会構成員		香西 坂田 寺本 武田 井上○ 柴田 上村 増田 千原 林 安江 土田
分掌内役割分担	平和・人権 多文化共生教育 (カリキュラム作成と実施)	香西 柴田 林
	不登校 いじめ・虐待 (校内員会と連携) ICTモラル教育	上村 土田 安江 坂田
	生活力向上 (生活のきまりなど)	井上 千原
	支援教育	増田 寺本

健康・体力向上推進部

部会構成員		塚田 宮田 大隅 松浦 雲川 新居 里 築地 月形 ニッキー 上田○ 田中 服部
分掌内役割分担	運動会	上田 塚田 月形
	水泳指導	宮田 築地 雲川
	体育行事 (体力測定など)	松浦 新居 大隅
	保健体育 校内学習体制 (系統学習など)	服部 田中 上田

○主担

指導推進部 B

視聴覚 ICT機器管理	上田○ 柴田 金関 築地
----------------	--------------

地区児童会	大隅○ 村中 ニッキー 林 櫻井 永野
-------	------------------------

図書館教育	宮田○ 松浦 千原 土井
-------	--------------

美化清掃 (環境・エコ)	塚田○ 月形 雲川
-----------------	-----------

特別活動	里○ 北村 井上 中道
------	-------------

学校安全	香西○ 坂田 武田 杉長
------	--------------

給食食育	田中○ 服部 安江 土田 新居
------	-----------------

特別支援食育	増田○ 荻野 寺本 上村
--------	--------------

④ 管理部

教室・倉庫関係	各教室(各担任) 職員室(教頭) 家庭科室(教科家庭1名と秋月) 図工室(教科図工1名) 音楽室(教科音楽) 図書室(B図書) コンピュータ室(教務) 放送室(視聴覚) 会議室(教務) 保健室・保健薬品(養護) 理科室・理科準備室(教科理科) 児童更衣室(教務・高学年女性) 職員更衣室(教務・担外) 印刷室(事務・教務) 生活科倉庫(教科生活) 少人数教室(少人数) 体育館(体力向上) 運動場(芝生も含む)プール(体力向上) 遊具(学校安全2名) 清掃倉庫(B 美化清掃) 調理場(栄養) ストーブ・倉庫(教頭・教務) 花壇(校務員) 学級園(各学年) 管理倉庫(校務員)
備品	机・椅子(教務) 保健器具(養護) 図書(B図書) 給食(栄養) PC・ICT関係(B 視聴覚) 教室備品(各担任) 消火器・冷暖房器具・扇風機(教頭)
消耗品	教具(各教科担当) 事務消耗品(事務) 清掃用具(坂田) 理科関係(増田)
営繕	施設・設備(校務員・教頭) 窓ガラス等(事務・教頭)

⑤ 渉外部

小中一貫	四中校区小中一貫推進員	首席・教務主任
	事務連携	主査・副主査
	養護連携	養護教諭・養護助教諭
	支援教育連携	支援 Co
	図書館教育連携	推進 B 図書教育部長
	保幼小連携	支援 Co
校区コミュニティ協議会 福祉委員会 青少年守る会	教頭	
第四中校区地域教育協議会	校長	
衛生推進者	教頭	
施設開放	教頭	
枚方市教育研究会推進員	首席・教務主任	
いきいき広場	教頭	
緑化推進	校務員	
留守家庭児童会連絡担当者	教頭 首席・教務主任	
コミュニティースクール	首席・教務主任	

⑥ 事務部 ○主担者

学事 (就学事務 就学援助 転出入 在籍 教科書 指導書)	○事務 教頭 各担任
給与 (給与 諸手当 旅費 共済 互助)	○事務
市費 (予算計画 購入 請求書処理 郵便料)	○事務
物品管理 (消耗品 備品 台帳)	○事務 各教科部会
学校園徴収金 (銀行・口座業務・学年会計・視聴覚費)	○事務 各学年担当
学年会計担当者 1年担当者 2年担当者 3年担当者 4年担当者 5年担当者 6年担当者	
給食費	○事務 各担任

⑦校内委員会

校内委員会	支援教育 いじめ・不登校対策委員会	校長 教頭 首席・教務主任 支援Co 養教 学年担 支援担
	虐待対応委員会	校長 教頭 首席・教務主任 援Co 養教 学年担 支援担
	評価検討委員会	校長 教頭 首席・教務主任 学力向上推進部
	校務分掌検討委員会	校長 教頭 首席・教務主任 学年主任
	行事検討委員会	校長 教頭 首席・教務主任
	食物アレルギー対応・食育推進委員会 学校保健委員会	校長 教頭 栄養教諭 養護教諭 B部会 (食育給食指導部)
	ICT総括・管理委員会 (パスワード管理・委員会対応※故障、ロック解除など)	校長 教頭 首席・教務主任
ハラスメント・体罰相談窓口		校長 教頭 養護教諭 養護助教諭 栄養教諭

道徳教育の全体計画

学校の教育目標
 日本国憲法
 教育基本法
 学校教育法
 学習指導要領
 枚方市教委の目標・方針

学校の教育目標

- 心豊かで、自ら考え、たくましく生きる力を育てる
- ・考える子ども
- ・明るい子ども
- ・手をつなぐ子ども
- ・たくましい子ども

児童の実態
 地域社会の中でも薄れていく子ども同士のつながり、思いやり、協力することが弱い。主体的な学習態度の育成が必要である。

特別活動

- 学級生活の充実と向上にかかわる活動を通して、進んで問題を解決し、温かい人間関係を築こうとする態度と集団の中で自己を正しく生かす能力や態度の育成を図る。
(学級活動)
- 児童の意見、発想を大切に、学校生活における諸問題の解決を図ることにより、自主的、実践的な態度や協力性、思いやりの心を育てる。
(児童会活動)
- 共通の興味関心を追及する活動を通して、個性を伸ばし、豊かな人間関係を育てる。
(クラブ活動)
- 豊かな体験の場を設けて、主体的に参加させることにより、集団への所属感を深め、協力性、責任感、勤労意欲等を育成する。(学校行事)

道徳教育の重点目標

- 心豊かに、よりよく生きようとする子どもの育成
- ・節度ある生活態度を養い豊かな人間性を育成する。
- ・相手の立場を思いやり、広い心で人に接する。
- ・主体性を持って集団や社会に貢献する
- ・生命を尊重し、自然環境や社会福祉などに目を向け、これらを大切にすること。

各教科

- 指導内容・方法の改善、充実を図り、児童一人一人の感じる力、考える力の育成に努める。
- 児童一人一人の個性、能力に応じた指導の展開に努めるとともに、相互に協力し合い、励まし合う学習態度の育成に努める。
- 各教科の指導内容、教材等、道徳教育に深くかかわるものを通して、道徳性の育成に努める。
- 見学、実験、観察、グループ学習、共同製作などの学習方法や学習形態を通して、道徳性の啓発を行う。
- 指導する教師の行動や態度を通して、望ましい人間関係のあり方を感化していく。

各学年の指導の重点

低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○よいと思うことを進んで行い、のびのびと生活すること ○友達にあたたかい心で接し、仲よく助け合うこと ○生命を大切にすること ○みんなのことを考え、約束やきまりを守ること
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ○よく考え、正しいと思うことをやり遂げること ○思いやりの心をもち、友達と互いに信頼し合うこと ○自然のすばらしさや生命の尊さを受け止め、大切にすること ○約束やきまりを守り、公德心をもって行動すること
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で目標をたて、誠実に勇気をもって努力すること ○相手の立場に立ち、互いに理解し合い信頼し合って向上すること ○生命の尊厳を自覚し、人間の力を超えたものへの畏敬の念をもつこと ○公德心をもち、公平公正な心で正義の実現に努めること ○社会に奉仕するよるこびを知り、公共のために努力しようとする

生徒指導

- 児童相互、児童と教師の心の交流を図り、望ましい生活習慣を身につけた児童の育成に努める。
- 児童の行動面のみでなく、内面に働きかける指導の手だてを工夫する。
- 児童が意欲をもって取り組むことができる実践目標を設定する。
- 学校、家庭、地域が一貫した指導姿勢をもつための方法を探る。

総合的な学習の時間

- 自然体験、ボランティアなどの社会経験を通して、自ら問題に積極的に取り組む態度を養う。
- 異年齢集団の組織的活動等を通して、望ましい人間関係についての体験の充実を図る。

道徳科の指導

児童が、ねらいとする道徳的価値を自分の課題として受け止め、豊かに感じ、いきいきと表現して、よりよく生きようとする意欲を自らはぐくむような時間を目指す。

- ・「わたしたちの道徳」の活用
- ・資料の選択・活用の吟味、資料提示の工夫、体験活動とのかかわりの工夫
- ・ゲストティーチャー、ティームティーチング等指導方法の工夫

外国語活動

- 外国人講師や外国語に堪能な地域人材を活用して、外国語にふれたり、外国の文化に親しんだりする体験を充実させる。

教育環境の整備

児童の豊かな心を育て、道徳的実践意欲を高めるよう、心にひびく環境づくりをする。

- ・児童と教師、児童相互の望ましい人間関係づくり
- ・言語環境の改善、充実 ICT機器
- ・校舎、校庭の美化 芝生の育成
- ・清掃 奉仕活動
- ・道徳資料の整備
- ・ユニバーサルデザインからの整備

豊かな体験

全教育活動において、道徳的実践を促したり、道徳的実践力を培ったりするため、豊かな体験の場を充実させる。

- ・人、物、自然とのふれあい
- ・各教科の学習
- ・特別活動の学習
- ・総合的な学習の時間の学習
- ・道徳の時間に生かす。

家庭・地域等との連携

学校、家庭、地域三者の相互理解を深め、交流を密にし、協体制をととのえる。

- ・保護者・地域の方々へ公開授業の実施(道徳の時間)
- ・学校評議員会の積極的な情報交流
- ・学校、学年、学級だよりを積極的に発行する
- ・地域行事の積極的な協力
- ・第四中学校区の小中連携の強化
- ・保育園等との積極的な連携

人権全体計画

<p>実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会での友達同士のつながりが薄れている傾向があり、思いやる心・協力する力も弱まってきている。 ・自尊感情が低く、適切な自己表現ができない児童が増えてきている。 	<p>学校教育目標</p> <p>◎ 心豊かで、自ら考え、たくましく生きる力を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考える子ども ・ 明るい子ども ・ 手をつなぐ子ども ・ たくましい子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本国憲法 ○ 教育基本法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育法 ・ 人権関係諸法規等 ○ 学習指導要領
--	---	---

<p>本校人権教育目標</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人の違いを認め合い、仲間同士支え合う集団作りを目指し、平和を愛する心を育てる。 ○ 相手の立場に立って考え、身の周りの人権問題に気づき、解決しようとする気持ちを育てる。 ○ 自分の存在を大切にでき、自己表現ができる態度を育てる。

<p>指導の重点</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権に関する正しい理解を図るために、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などの連携により、人権教育を計画的に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童理解に努め一人ひとりの児童の実態に即した指導を創造する。 ・ 児童の身近にある差別事象に気づかせ、差別を許さない主体性を育てる。 ・ 仲間作りを推進する活動。 ・ いじめ、不登校、虐待等の早期発見に努めるとともに、受容的な姿勢で理解し指導を行う。 ・ 問題が起きたときは全教職員でかわかり、共通理解を持つとともに速やかに報告及び伝達し協働体制のもとで処理する。 ・ 障害のある児童とともに生活、学習することにより、相互の人権意識を高める。 ・ 教師と児童の人間的な信頼関係を確立する。

<p>具体的方策</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回人権部会を開く。 ・ 月1回通常の学級と支援学級担任者会を開く。 ・ 学期に1回支援学級懇談会を開く。 ・ 全体会を開き、報告し検討する。 ・ 人権問題に精通した講師を招聘し、研修を深める。

<p>人権教育の学年目標</p>
<ul style="list-style-type: none"> 1・2学年 一人ひとりを認め合い、仲間や集団を大切にすることができる。 3・4学年 友だちと自分との違いを認め、友だちを大切に、支え合うことができる。 5・6学年 自分の気持ちをしっかり表現し、一人ひとりの違いを認め合い、お互いに人権を尊重することができる。

全教育活動		
各教科・道徳	特別活動・学校行事	総合的な学習の時間
<p>各人権課題指導のねらい</p> <p>〈自分〉 自分や、自分の役割を知り、自分を表現し、自分を大切に、高める能力の育成</p> <p>〈友だち〉 一人ひとりの違いやよさを認め合い、信頼し合える仲間づくり</p> <p>〈男女〉 男女の協力と理解</p> <p>〈子ども〉 いじめ防止、子どもの権利の理解、異年齢交流を通しての支え合い</p> <p>〈高齢者〉 地域の高齢者との交流を通しての共感と尊敬</p> <p>〈障害者〉 体験・交流を通しての障害者への理解</p> <p>〈地域学習〉 各々の地域で人々が努力している様子を知り、差別のない社会づくりの推進</p> <p>〈国際理解〉 J T E等の活用を通しての文化や価値観の理解と尊重</p> <p>〈平和学習〉 広島への修学旅行での学習等を通して平和の大切さの理解</p> <p style="padding-left: 40px;">世界でおきている様々な紛争や人権問題に対する理解</p> <p>関連指導</p> <p>ボランティア活動、福祉教育、交流教育、国際理解教育、性教育、平和学習</p>		

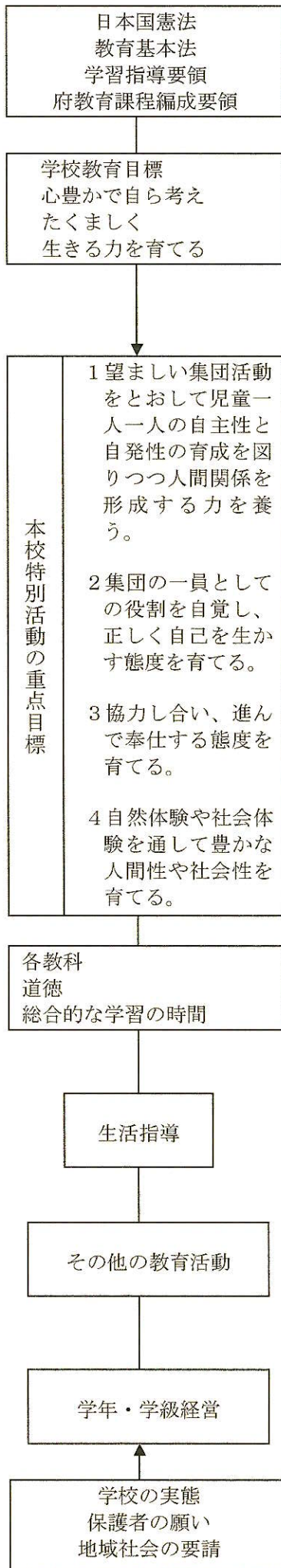
<p>関連を図る取り組み</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連機関、地域との連携（人権問題学習会、異年齢交流、世代間交流等） ・ 家庭との連携（授業参観、懇談会、オープンスクール、学校・学年便り等） ・ 職員研修（人権意識を高め、共通認識の上での人権教育の推進）

人権教育の年間指導計画

	男女平等教育	障がい者理解・特別支援教育	平和教育	在日外国人教育・国際理解教育	地域学習・同和教育	集団づくり	その他
1年	○「～さん」の呼び方 ○男女混合で並ぶ ○色の好みで男女を決めつけない	○ユニバーサルデザイン の取り入れ ○いろいろな友だちのことを知ろう	○折り鶴作り ○平和絵本読み聞かせ	○ほかの国の友だち(道) 『チェッチェコロ』『セブンスステップス』(音)	○常称寺保育園児との交流 ○「昔遊び」を通じて地域のお年寄りと交流	○ぼかぼか言葉とちくちく言葉 ○合同体育 ○オペレッタ ○ペア学年交流	○生活アンケート 【1、2、3学期】
2年	○「～さん」の呼び方【通年】 ○男女混合で並ぶ【通年】	○ユニバーサルデザイン の取り入れ【通年】 ○いろいろな友だちのことを知ろう	○折り鶴作り 【10月】 ○平和絵本読み聞かせ	○英語の歌	○町探検の取り組み(生)【9月】	○クラス遊び 【通年】 ○ペア学年交流	○人権アンケート 【1、2、3学期】
3年	○「～さん」の呼び方【通年】 ○男女混合の並び方、座席配置【通年】	○ユニバーサルデザイン の取り入れ【通年】 ○福祉教育 ○いろいろな友だちのことを知ろう	○ちいちゃんのかげおくり(国) ○折り鶴作り 【10月】 ○平和DVD鑑賞	○外国語活動	○校区めぐり・市内めぐり(総・社)【1、2学期】 ○地域の昔の暮らしについて(社)【3学期】	○クラス遊び 【通年】 ○児童会まつり 【11月】 ○ペア学年交流	○人権アンケート 【1、2、3学期】
4年	○学級づくりの中で【通年】 ○大人に近づく体(保)【2月】	○ユニバーサルデザイン の取り入れ【通年】 ○学級づくりの中で【通年】 ○点字学習(道)【3月】 ○アイマスク体験【11月】 ○ともに学びともに育つラス作り	○一つの花(国) 【9月】 ○平和ビデオ鑑賞【7月】 ○折り鶴作り 【10月】	○外国語活動	○浄水場・清掃工場見学(社)【4月】	○学級づくりの中で【通年】 ○児童会まつり 【11月】 ○ペア学年交流	○人権アンケート 【1、2、3学期】
5年	○家庭の仕事を見つけよう(家)	○ユニバーサルデザイン の取り入れ【通年】 ○ともに学びともに育つラス作りについて考えよう	○折り鶴作り 【10月】 ○平和ビデオ鑑賞【11月】	○外国語活動 ○世界のあいさつ(外国語) ○世界の音楽に親しもう(音) ○外国語	○米づくり(総)	○児童会まつり 【11月】 ○ペア学年交流	○人権アンケート 【1、2、3学期】
6年	○校外学習の班活動 ○修学旅行	○ユニバーサルデザイン の取り入れ【通年】 ○ともに学びともに育つラス作り	○平和学習(総、国、社) ○日本国憲法(社) ○折り鶴作り	○外国語活動 ○NGO、NPO、ユニセフ(社) ○世界の中の日本(社) ○外国語	○幕府の政治と入びとの暮らし(社)	○児童会祭り 【11月】 ○ペア学年交流	○人権アンケート 【1、2、3学期】

※山之上小平和の日・・・6年生の修学旅行報告会の日程に合わせて、全校で平和について考える学習に取り組む

特別活動全体の指導計画



学級活動	○学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	
	(1)学級や学校における生活づくりへの参画	ア学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ学級内の組織づくりや役割りの自覚 ウ学校における多様な集団生活の向上
	(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	ア基本的な生活習慣の形成 イよりよい人間関係の形成 ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
(3)1人1人のキャリア形成と自己実現	ア現在や将来に希望をもって生きる意欲や態度の形成 イ社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	

児童会活動	○児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	
	代表委員会活動	学校生活に関する諸問題について話し合い、解決を図るための活動
	委員会活動	学校内の自分たちの仕事を分担処理するための活動
児童会集会活動	全校又は学年の児童による活動の計画や内容についての協議、活動状況の報告や連絡、集会などの活動	

クラブ活動	○クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	
	クラブの組織作りとクラブ活動の計画や運営	児童が活動計画を立て、役割を分担し、協力して運営に当たること
	クラブを楽しむ活動	児童相互の創意工夫を生かしながら協力して追求する
クラブの成果を発表する活動	活動の成果について、クラブの成員の発意・発想を生かし、協力して全校の児童や地域の人々に発表すること	

学校行事	○学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	
	儀式的行事	入学式、卒業式、始業式、終業式、離任式、朝会など(国旗・国歌の指導)
	文化的行事	児童会祭りなど
	健康安全・体育的行事	健康診断、避難訓練、交通安全教室、運動会など
	遠足・集団宿泊的行事	遠足、修学旅行、野外活動など
勤労生産・奉仕的行事	飼育栽培活動、校内美化活動、市域社会の美化活動、福祉施設や幼児教育施設への訪問や交流活動など	

総合的な学習の時間 全体計画（改訂）

学校教育目標

『わかる・できる・考える』子ども

～知・徳・体の生きる力を育てる～(たしかな学力・豊かな心・健やかな体)

本校の総合的な学習の時間の目標

「地域や学校の特色ある生活や学習についての探究的な学習を通して児童が多面的に追及する姿勢や考え方を身につけ、主体的に課題を見出し、互いに協力し合って課題解決にあたり、よりよい学習集団を形成するとともに、自己の生き方を考えることができるようにする。」

育てたい資質や能力

- ① 学習方法に関して（学ぶ力）
自ら課題を設定し、各教科・領域で身につけた知識・技能を 活かし、探究的に調べ、考え、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力。
- ② 自分自身に対して（生き方）
問題解決や探究活動に主体的に取り組むことで、自らの生き方を考えたり、見直したり、将来への夢をはぐくむ力
- ③ 他者や社会とのかかわり（学ぶ態度）
友だちと協力し合って課題解決に当たることや、郷土・地域社会の活動や体験、様々な人との関わりに積極的に参加する態度。

学習内容及び学習活動

テーマ	3年 (70時間)	4年 (70時間)	5年 (70時間)	6年 (70時間)
地域	地域について知ろう (25)	暮らしやすい町について調べ、考えよう。SDGs (17)	稲作について調べ、体験し、学ぼう。(18)	地域や我が国の歴史めぐりをしよう (22)
環境			環境について学ぼう (14)	
福祉	昔調べ (25)	福祉について調べ、体験しよう (22)		
情報	PC への入力や検索方法を身につけ、簡単な文章を作る (15)	PC を使い学校環境を良くする手立てを調べ、環境新聞にまとめる (11)	調べ学習 (16)	調べ学習 (8)
国際理解	国際理解 (5)		世界の人々について考えよう (9)	世界の平和について調べ、学ぼう (26)
自己発見		自分が輝き、共同し自分を見つめなおそう (20)	自分が輝き、共同し自分を見つめなおそう (13)	自分が輝き、共同し自分を見つめなおそう (14)

評価の観点と評価基準

- ① 評価の観点：「育てたい資質や能力」①②③に基づき評価する。
- ② 評価規準：個別の活動の観察や記録、自己評価、相互評価、ポートフォリオ等から多面的に評価する。

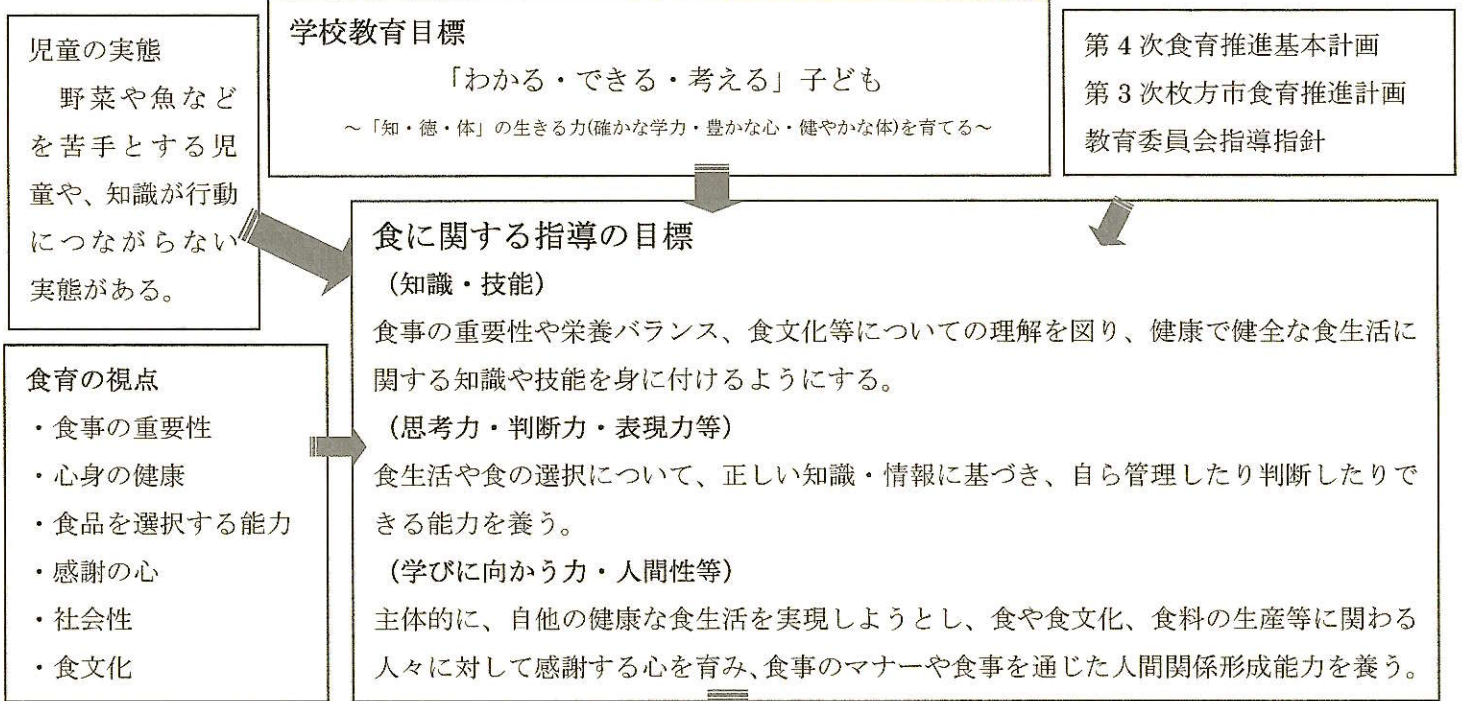
給食指導

1. 目標 楽しい食事や給食活動を通じて、豊かな心を育成し 社会性を養う。
2. 給食時間 12:15 ~ 13:00 準備・食事
- 13:00 ~ 13:15 後片付け *1時までは、教室ですごす。

3. 指導内容

- <準備> ①手を石けんでよく洗う。
②清潔なナフキンを家から持ってくる。
- <給食当番> ①エプロン（長そで・白色）、帽子、マスクを正しくつける。
*担任の先生の身支度
②体調の良くない児童は、当番をしない。担任は記録をつける。
③調理場へは、そろって並んで行く。（担任の先生の引率）
④運搬中は、絶対に走らない。安全に気をつける。（右側通行）
⑤熱いもの、重いものは2人で運ぶ。
- <配膳> ①できるだけ配りきるようにする。
②1個付けのものが足りなかったり、落とした時は調理場にとりにいく。
③落とした食器・スプーンなどは、調理場で交換または、水道で洗う。
(予備の食器は、それぞれ1枚)
- ★必ずアレルギー確認用献立表でアレルギー対応を確認・記入を食事前に行う
- <食事中> ①児童が自分で食べられる量を判断し、できるだけ全部食べるようにする。
②席をはなれないで、落ち着いて食べる。
- <後片付け> ①パン以外は、家に持って帰らない。
②欠席児童のパンは、パン箱に返してもよい。（他の児童が食べてもよい）
③食べ残した自分のパンは、自分で持って帰る。
④お盆は使用後洗い、常に清潔にしておく。または調理場で洗う。
⑤スプーンは、同じ向きにそろえて通す。
⑥玉じゃくしとサーバーは、大おかずの食缶に入れて返す。
⑦おかずばさみは、食器かごにかける。
⑧しゃもじは調理場入り口のバケツに入れる（ご飯容器に入れない）。
- <返却> ①返却もそろって、並んで返しに行く。
②牛乳は、調理場の外側の返却場所に空・残乳あり・カゴをそれぞれの場所に返す。
③パン箱と ご飯容器は、調理場の外の返却場所に返す。
④大食器は、カウンター下段右側に、持ってきた順につめて置く。
小食器は、カウンター上段右側に、持ってきた順につめて置く。
⑤小おかずは、カウンター上段中央に 数字の色別に置く。
⑥大おかずの食缶は、カウンター下段左側に置く。
⑦できるだけ、全員そろってから返却する。
- <その他> ①給食で出たごみは、クラスでまとめて 調理場に返す。（紙・プラ分別）
②嘔吐物が付着した食器具等は、消毒してから、ビニール袋に入れて、保健室で処理する。

食に関する指導の全体計画



幼稚園・保育所・子ども園との連携	各学年の食に関する指導の目標			中学校との連携
	1、2年	3、4年	5、6年	
	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に興味関心を持ち、食べ物の名前がわかり、仲間分けができる。 ・好き嫌いせずに食べる。 ・給食を作っている人たちに感謝の気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物は働きにより3つのグループに分けられることを知る。 ・地元でとれる野菜について知る。 ・給食から出るごみを減らすためにできることを考える。 ・給食に関わる身近な人たちへの感謝の気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の栄養と、栄養バランスのとれた食事の大切さがわかり、1食分の献立を立てることができる。 ・日常の食事に関わる仕事に進んで協力し、自分を支えてくれている人や友達に感謝の気持ちを持つ。 	

食物アレルギー対応・食育推進委員会
委員長：校長 委員：指導栄養教諭、養護教諭、教諭（低・中・高）

地場産物の活用
学校給食農産物マップの活用

食に関する指導

- 教科等における食に関する指導：
関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導
社会、理科、生活、家庭、体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等
- 給食の時間における食に関する指導：
食に関する指導：献立を通して学習、教科等で学習したことを確認
給食指導：準備から片付けまでの一連の指導の中で習得

家庭・地域との連携 積極的な情報発信、関係者評価の実施、地域ネットワーク等の活用
学校日より、給食日より（たべものしんぶん）、学校試食会、給食参観、学校保健委員会、講演会、保育園との交流給食、近隣校との連携

食育推進の評価
活動指標：食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整
成果指標：児童の実態、保護者・地域の実態

教科等	4月	5月	6月	7月	8~9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等	入学式				防災教育の日	運動会					卒業式
推進体制	教育推進委員会 計画策定	委員会		委員会				委員会	評価結果の分析	計画案作成	
社会		健康なくらしとまちづくり①ごみはどこへ【4年】	わたしたちの市の様子【3年】 食糧生産を支える人々【5年】	自然災害にそなえるまちづくり(地域にくらす人々のそなえを調べよう)【4年】	戦争と人々の暮らし【6年】	はたらく人とわたしたちのくらし【3年】 農業の仕事【3年】	はたらく人とわたしたちのくらし【3年】 農業の仕事【3年】		わたしたちの市のあゆみ【3年】	県の地図を広げて(農業や漁業が広がる地域)【4年】	
理科	季節と生き物(1)春の生き物【4年】 植物の発芽と成長【5年】	ヒトや動物の体【6年】	植物の育ちとつくり【3年】 ヒトのたんじょう植物のつくりとはたらき【6年】	季節と生き物(2)夏の生き物【4年】 台風と気象情報【5年】 生物どうしのつながり【6年】	植物の一生【3年】 ヒトの体のつくりと運動【4年】	季節と生き物(3)秋の生き物【4年】	季節と生き物(4)冬の生き物【4年】 ものとのけ方【5年】		季節と生き物(5)冬の間【4年】 自然とともに生きる【6年】		
生活	いくぞ!がっこうたんけん(給食がでるまで)【1年】 きせつだより春【2年】	大きくそでだて私の野さい【2年】	きせつだより夏【2年】	大きくそでだて私の野さい【2年】 みのかくの野さいをしよう【2年】	あきとなかよし【1年】 きせつだより秋【2年】	ひろがれえがお(1日のせいかつをふりかえろう)【1年】	これまでのわたしこれからのわたし(じぶんについてしよう)【2年】				
家庭		いためてつくり朝食のおかず【6年】	はじめてみようクッキング【5年】			食べて元気に【5年】 くふうしようおいしい食事【6年】					
体育		きそく正しい生活【3年】 心の健康【5年】 病気の予防【6年】	体の発育・発達【4年】	健康な生活【3年】		けがの防止【5年】				病気の予防【6年】	
他教科等	イースター島にはなぜ森林がないのか【6年】	さとうとしお【1年】	ことばあそびうたをつくろう【1年】 サツマイモのそだて方【2年】 環境問題について報告しよう【5年】	おおきなかぶ【1年】	サラダで元気【1年】	くらしの中の「和」と「洋」について調べよう【4年】 和の文化を受けつぐ一和菓子をさぐる【5年】					スイミー【1年】
		あわせていくつ	茶つみ【3年】	割合の表し方を	ごちそうパーティー	分数と小数・整数と小數・整	ならした大きさ	What would	比べ方を考えよ	ソーラン節【5年】	うれしいひな

(9) <学校保健安全年間計画>
自己の健康を意識し、行動する子どもを育てる。

月	保健目標	保健行事	保健管理		保健教育		組織活動
			心身の管理	環境管理	保健室の役割と利用の仕方	保健室との連携	
4	自分の体の様子を知らう	・二測定(身長・体重・) 尿検査・蛔虫卵検査・内科検診 ・心臓検診(省略心電図)・結核検診 ・聴力検査・結核検診・尿二次検査 ・保健委員会活動・眼科検診	・健康観察開始 ・保健調査の実施 ・健康診断の事後措置 ・欠席調べ	・保健室の整備	・保健室の役割と利用の仕方 ・健康診断 ・ほけんだより	・家庭・地域との連携 ・年間計画立案 ・食物アレルギー一対応委員会	
5	身の回りを清潔にしよう 食中毒に気をつけよう	・耳鼻科検診 ・心臓検診(12誘導心電図) ・視力検査・保健委員会活動	・健康診断の事後措置 ・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・プール清掃	・病気の治療 ・ほけんだより	・PTA総会	
6	菌を大切にしよう 熱中症を予防しよう 食中毒に気をつけよう	・心臓検診(医師検診) ・水泳指導前健康調査 ・結核検診(レントゲン撮影) ・保健委員会活動・歯科検診	・うがい・手洗いの励行 ・水泳前の健康調査 ・欠席調べ	・プール水質検査 ・飲料水水質検査	・歯、口腔の健康 ・プールに入る時の注意 ・熱中症の予防 ・手指の清潔 ・ほけんだより	・心臓蘇生法講習会 (教職員)	
7 8	夏休みを楽しく過ごそう 規則正しい生活をしよう 食中毒に気をつけよう	・保健委員会活動	・水泳時の健康管理 ・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・大掃除 ・ダニチェック	・夏休み中の健康生活 ・水分の補給 ・ほけんだより	・地区開放プール	
9	規則正しい生活をしよう 食中毒に気をつけよう	・二測定(身長・体重)・保健指導 ・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ ・キャンプ前の健康調査		・けがの予防と応急手当 ・ほけんだより		
10	目を大切にしよう	・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ ・マラソン事前健康相談 ・修学旅行事前の健康調査		・目の健康 ・ほけんだより ・修学旅行前の健康	・修学旅行に向けて性 に関する学習(6年) ・心臓蘇生の学習(5年)	
11	姿勢を正しくしよう	・ブラッシング指導 (・5年生脊柱側弯検査) ・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ		・姿勢を正そう ・ほけんだより	・学校保健委員会	
12	感染症を予防しよう。	・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・大掃除 ・教室の換気	・冬休み中の健康生活 ・ほけんだより		
1	寒さに勝てる生活をしよう	・二測定(身長・体重) ・保健指導 ・保健委員会活動 ・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・教室の空気調査 ・教室の換気 ・照度測定	・早寝早起き朝ご飯で かぜに負けない体作り ・ほけんだより	・薬物乱用防止教室 (5,6年)	
2	身の回りを清潔にしよう	・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・教室の換気	・脳・こころの発達	・薬物・喫煙防止につ いての学習(6年)	
3	一年間を振り返り新年度 備えよう 耳を大切にしよう	・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・大掃除 ・教室の換気	・耳の健康 ・ほけんだより ・一年間の振り返り		

随時、実施



項目	月	4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3
道の	月の重点	通学路を正しく歩こう	安全に休み時間を過ごそう	梅雨時の安全な生活をしよう	自転車乗車時の安全な生活をしよう	乗り物の乗り降りに気を付けよう	災害に備えた生活をしよう	安全な冬の生活をしよう	災害から身を守ろう	道路標識を守ろう	安全な生活ができるようにしよう	
道徳	道徳	規則尊重	生命の尊重	思いやり、親切	勤勉努力	思いやり、親切	家庭愛	勇気	勤勉努力	節度・節制	愛校心	
生活	生活	地域巡回時の交通安全	野外観察の交通安全	公園までの交通安全	虫探し、お店探検時の交通安全	たけひご、つまよじの使い方	郵便局見学時の安全	はさみ、ステープラーの使い方	カッターナイフの使い方	ガスコンロの使い方	移転ごとの使い方	
理科	理科	野外観察時の交通安全	カバナー、ガラス、プラスチックの使い方	スコップ、ナイフの使い方	夜間観察の安全	観察中の安全	ポリ袋、ゴム風船の使い方	鏡、凸レンズ、ガラス器具の使い方	バナー、蒸気皿の使い方	針金、プラスチックの使い方	塩酸、水酸化ナトリウムの取り扱い	
図工	図工	はさみ、カッターナイフ、絵の具、接着剤の安全な使用の使い方	写真場所の安全な選定	のぎざり、小刀、金づち、くぎ抜き、くぎの使い方	木づち、ゴム、電動のこ、ニスの使い方	プールでの船の安全な浮かばせ方	ラッカー、シナナの取り扱い	竹ひご、細木の使い方	小刀の管理の仕方と使い方	陶器作成時の注意	共同作品作成時の安全	
家庭	家庭	針、はさみの使い方	アイロンの使い方	食品の取り扱い	包丁の使い方	実習時の安全な服装の選び方	ミシンの使い方	油の安全な取り扱い	調理用具の使い方	調理器具の安全な使い方	調理器具の安全な使い方	
体育	体育	運動施設の使い方	集団演技、行動時の安全	水泳前の健康観察	水泳時の安全	鉄棒運動時の安全	けがの防止(保健)	ボール運動時の安全	ボール運動時の安全	跳躍運動時の安全	固定施設利用時の安全	
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	「山の上の地域について知ろう」(3年)	「暮らしやすい町について調べ、考えよう」(4年)	「山の上の地域について調べ、体験し、学ぼう」(5年)	「防災マップづくり」(6年)	等安全にかかわる課題を年間活動計画に位置付ける						
学級	学級	通学路の確認	休み時間の約束	雨天時の約束	夏休みの約束	運動時の約束	災害時の正しい行動	安全な服装	安全な服装	「おかしもの」の約束	身近な道路標識	1年間の反省
学年	低学年	安全な登下校	安全な給食配膳	遊び場や行き帰りの安全	自転車乗車時の約束	家庭や屋上の安全な歩き方	乗車時の正しい行動	雪道の歩き方	雪道の歩き方	危険なものを発見するとき	暖房器具の安全な使用	暖房器具の安全な使用
学年	中学年	安全な登下校	安全な清掃活動	雨天時の安全な過ごし方	道路での自転車乗車時の約束	家庭や屋上の安全な歩き方	屋外への避難の仕方	凍結路の安全な歩き方	凍結路の安全な歩き方	「おかしもの」の約束	自転車に關係のある道路標識	1年間の反省
学年	高学年	安全な登下校	安全な委員会活動	雨天時の事故とけが	自転車乗車時の約束	家庭や屋上で起こる事故の防止	火災防止	凍結路の事故	凍結路の事故	「おかしもの」の約束	交通ルール	1年間の反省
児童会活動	児童会活動	身の回りの犯罪	代表委員会	運動会進行	児童朝会	児童朝会	後期委員会開始	児童朝会	児童朝会	児童朝会	クラブ発表会	6年生を送る会
主な学校行事等	主な学校行事等	健康診断	春の交通安全運動	避難訓練(風水害)	夏季水泳教室	秋の交通安全運動	オープンスクール	マラソン週間	マラソン週間	避難訓練(火災)	学習発表会(参観)	卒業式
対人管理	対人管理	安全な通学の仕方	固定遊具の安全な使用	校内での安全な過ごし方	自転車乗車時の安全な歩き方	家庭や屋上で起こる事故の防止	安全な避難の仕方	凍結時の安全な歩き方	凍結時の安全な歩き方	災害時の身の安全の守り方	道路標識の種類と意味	1年間の人的管理の計画・反省
対物管理	対物管理	通学路の安全確認	諸設備の点検及び整備	学校環境の安全な点検及び整備	夏季休業前・中の校舎内外の点検	校庭や屋上など校舎外の整備	避難経路の確認	校内の危険箇所の確認	校内の危険箇所の確認	学区内の安全施設の確認	1年間の安全施設の評価	1年間の学校環境、安全点検の評価・反省
学校安全に関する組織活動	学校安全に関する組織活動	春の交通安全運動時の教職員	校外における児童の安全行動把握、情報交換	子どもの安全確保推進地域の危険箇所点検	国民安全の日(7月1日)	秋の交通安全運動の啓発と街頭指導	地域生活指導情報交換会	地域防災訓練の啓発	地域防災訓練の啓発	PTA安全(保健)委員会	地域交通安全パトロール	

防犯及び防災計画

A. 火災について

火災予防の万全を期するとともに、万一火災が発生した場合は、全職員で一致協力して事故を最小限に食い止めるよう努力する。

◎ 平常時

1. 電気、ガス等の設備状態を把握するとともにその取り扱いに細心の注意を払う。
2. 消火器、消火栓の点検と取り扱いに習熟する。
3. 各火元取締担当場所について、たえず火気の注意をする。
4. 火災予防についての教育指導を徹底する。

◎ 火災発生時

1. 警報機・通報により発生場所を確認し直ちに消火活動に当たり、初期消火に努める。
2. 発生状況によって消防署、警察署、教育委員会等に緊急連絡し、協力を求める。
3. 学校長は、非常事態と判断した場合はただちに非常態勢の指示を行う。各担任は、直ちに学習活動を中止して避難経路に従って児童を避難させる。
4. 各担任は、児童の避難完了を確認し、消火活動、非常持ち出しに当たる。
5. 夜間、休日等、教職員不在の場合は施設管理人は上記2の措置を迅速に行う。

◎ 火災予防ならびに消火器具

1. 火災感知器・・・・・・・・各教室 1～2個
2. 火災受信機・・・・・・・・職員室および施設管理人室に設置
3. 消火栓・・・・・・・・15カ所
4. 消火器・・・・・・・・41本
5. 防災拡声器・・・・・・・・職員室に設置

B. 地震について

1. 地震が発生した場合、担任は的確な判断を下し、机の下に隠れ、頭を防護するなど児童の安全確保に努める。
2. 学校長は事態により、可能な限り速やかに全職員に指示を行う。
3. 職員室からの放送指示により、揺れの収まりを待って運動場に児童を避難させる。
4. ガス、電気を消す等の火気に関する適切な処置を執る。

C. 台風について

1. 台風が接近した場合は、予報に注意し、教育委員会との緊密な連携を取るとともに校長の指示により登校中止・緊急下校等の措置を執る。

D. 付記

1. 火災報知器および消火用具等は毎学期当初に維持点検を行う。また、毎月1回、施設・遊具の安全点検を実施する。
2. 火災、地震、台風、不審者等に関する避難訓練を実施し、児童の教育指導および教職員の対応等の組織体制をつくる。

年間計画 別途記載（学校行事関係）

毎月 安全点検実施

学年行事 3年交通安全室

学期毎に実施 避難訓練 1学期 不審者対応

2学期 風水害対応（集団下校） 火災対応

3学期 地震対応

3. 火災非常体制は次のとおりとする（先頭記載者が主担）

1. 状況確認、非常体制の指示・・・・・・・・・・校長、教頭
2. 外部通報（消防署・警察署・教育委員会）・・・・・・・・教頭、教務
3. 児童の避難誘導・・・・・・・・・・各担任
（担任の不在学級は隣接担任および担任外教職員）
4. 保健室児童の避難誘導・・・・・・・・・・養護教諭、担任外教員
5. 避難後の校内巡視・・・・・・・・・・担任外教員
6. 避難人員の集計確認・・・・・・・・・・事務、教頭
7. 非常持ち出し物品（指導要録、保健・事務関係）・・教頭、校務員
8. 重要物品・・・・・・・・・・担任外教員
9. 初期消火・・・・・・・・・・教頭、男子教員
10. 消火活動協力・・・・・・・・・・避難誘導後の男子担任
11. 児童保護管理・・・・・・・・・・避難誘導後の女子担任
12. 救護・・・・・・・・・・養護教諭、担任外教員

4. 校内事故発生時の処置について

1. 学級担任は、家庭に連絡を取る。

「事故の概要、処置を説明。かかりつけもしくは指定病院を尋ねる。指定がない場合は、受け入れ確認のとれた最寄りの病院に搬送する旨を伝える。病院で治療後の対応についても確認しておく。保護者が病院に行くことが可能な場合は保険証・現金を持参願う。」

2. 養護教諭は、保護者の指定した病院もしくは最寄りの病院と連絡を取る。

「児童の状況を説明し、受け入れの可否を確認する。搬送先を担任から保護者に伝える。」

学校給食における対応

1. 食中毒の防止

ア. 未然防止のポイント

- ・ 学校保健安全法に基づいた健康観察を適切に行い、児童生徒の体調不良を早期発見するよう努めます。
- ・ 「学校給食衛生管理基準」(平成 21 年文部科学省告示第 64 号)に基づき、給食当番の健康状況を記録します。

給食当番チェックリスト

- 下痢をしている者はいない。
- 発熱、腹痛、嘔吐をしている者はいない。
- 衛生的な服装をしている。
- 手指は確実に洗浄した。

- ・ 児童生徒に胃腸炎の症状(腹痛・下痢・嘔吐等)がある場合は、給食当番を交代させます。
- ・ 給食当番はもとより、児童生徒全員が食事の前、用便後の手洗いを励行します。
- ・ 校内で嘔吐があった場合の嘔吐物の処理については、全職員が共通理解を図った上で適切に対応します。
- ・ 食器具に嘔吐物が付着した場合、流水ですすいただけでは食器にウイルスが付着したまま給食調理施設へ返却され、給食を介した食中毒の発生につながる恐れがあります。嘔吐物が付着した食器具は、次亜塩素酸ナトリウム溶液(塩素濃度 1000ppm に 10 分)に浸して一次消毒を行った後、消毒済みであることがわかるように給食調理施設に返却します。

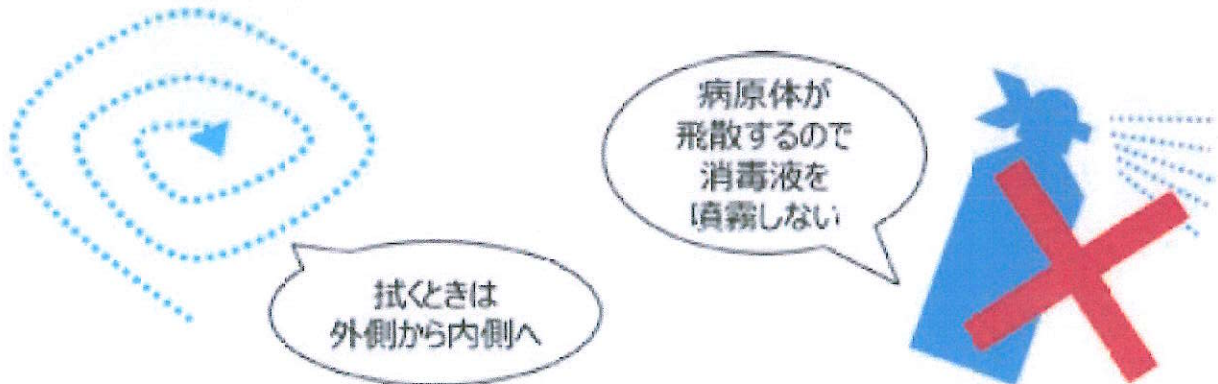
吐物の清掃

近くにいる人を別室などに移動させ、換気をした上で、吐物は、ゴム手袋、マスク、ビニールエプロンをして、できればゴーグル、靴カバーを着用し、ペーパータオルや使い捨ての雑巾で拭きとる。

吐物は広範囲に飛散するため、中心部から半径2mの範囲を外側から内側に向かって、周囲に拡げないようにして静かに拭き取る。拭き取ったものはビニール袋に二重に入れて密封して破棄する。

吐物の付着した箇所は、0.1%(1,000ppm)次亜塩素酸ナトリウム消毒液で消毒する。次亜塩素酸ナトリウムは、木や紙などの有機物に触れると消毒効果が下がるため、ペーパータオルを使ったり木の床を消毒したりする場合には、0.2%(2,000ppm)以上の濃度の次亜塩素酸ナトリウム消毒液を使用する。消毒液をスプレーで吹きかけると、逆に病原体が舞い上がり、感染の機会を増やしてしまうために、噴霧はしないようにする。

処理後、スタッフは石鹼、流水で必ず手を洗う。



出典「学校において予防すべき感染症の解説」公益財団法人 日本学校保健会 平成 30 年3月

イ. 発生時対応の留意点

- ・ 胃腸炎による欠席者や体調不良者が多数見られた場合、食中毒を疑います。疑いが発生した時点で、対応

マニュアルに沿って、学校医や管轄する保健所、教育委員会等と連携し、迅速な対応を行います。

- ・ 家庭への情報提供を行い、家庭内での二次感染防止に努めます。

2. 異物混入の防止

ア. 未然防止のポイント

- ・ 配膳室は施錠するなど、児童生徒や部外者が立ち入ることのないよう施設管理を徹底します。
- ・ 納入業者が学校に直接届ける食品については、検収責任者を決め、納品時の温度や賞味期限等を確認し、その記録を適切に保管します。納入された食品は、給食開始まで適切に保管します。(例:米飯やパンなどの主食・牛乳・デザート等)
- ・ 教室内のほこりが食品に混入することを防ぐため、配膳前及び配膳中は、児童生徒は静かに着席して待つように指導します。
- ・ 教室内の不要物は処分し、画鋲や釘等の金属製品は適切に収納します。
- ・ 児童生徒に対して正しい身支度を指導します。特に児童生徒の毛髪が配食中の食缶や配食後の食品中に入ることがないように、給食当番だけでなく個々に注意が必要であることを指導します。
- ・ ヘアピン、安全ピン、体操着のファスナーなど、児童生徒が普段から身につけている金属類についても十分な注意が必要です。
- ・ 学習用品の中で異物となりやすいものには、クリップ、鉛筆及びシャープペンシルの芯、裁縫道具、実験器具類などがあります。給食前に適切に収納するよう指導します。
- ・ ケガの手当に使用する絆創膏等は、水分を含むことで取れやすくなり、異物混入の原因となることがあります。給食当番を行う児童生徒が手指のケガにより絆創膏等をしている場合は、食品の盛りつけを行わないなど給食当番の分担を配慮します。
- ・ 必ず学級担任等が配食に立ち会い、給食当番の活動を指導します。

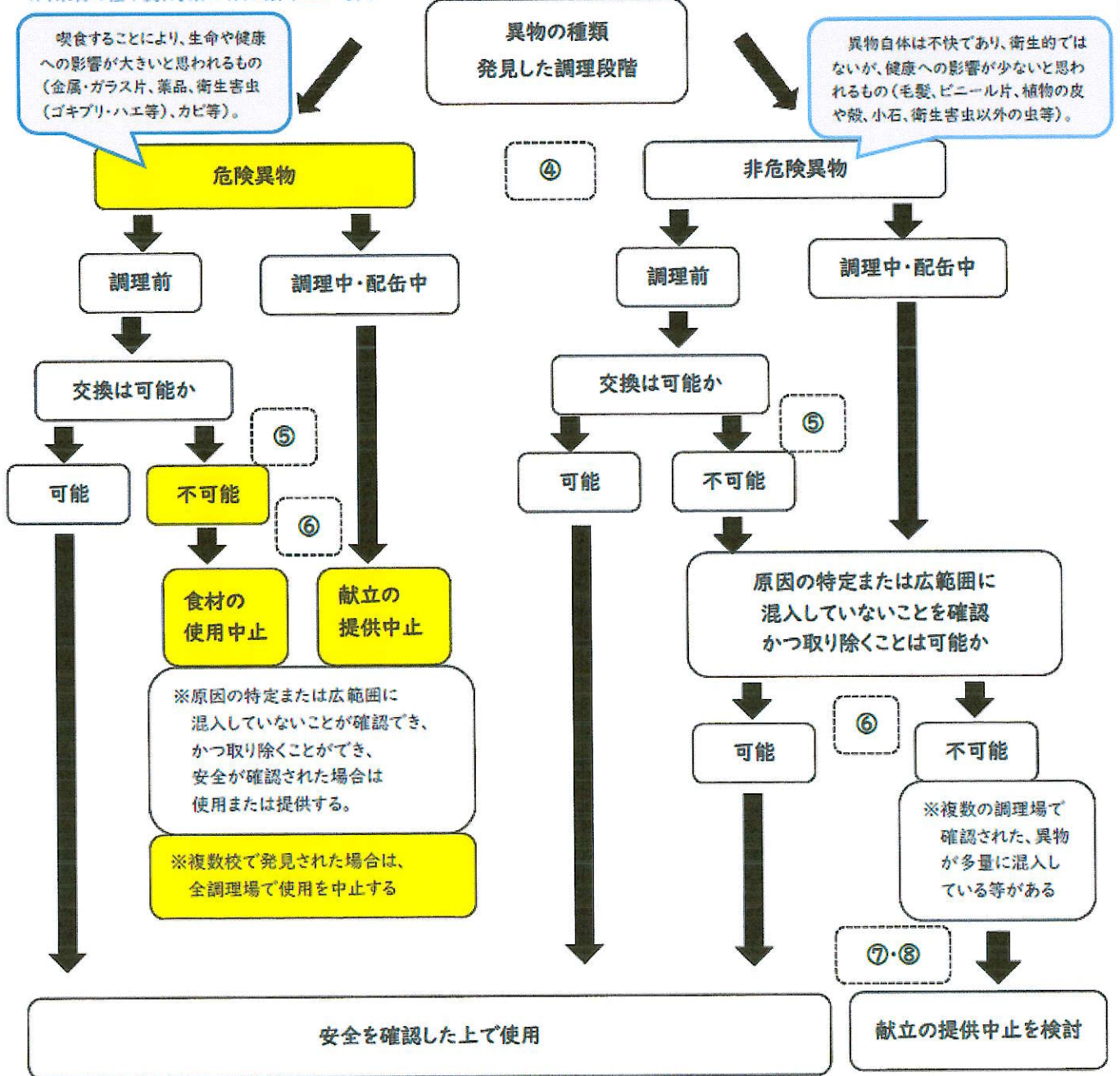
イ. 発生時対応の留意点

- ・ 混入した異物が児童生徒に健康被害を及ぼす危険があるもの(金属片、ガラス片、硬質プラスチック片等)と判断した場合、すみやかに管理職に報告し、給食停止の措置を講ずる等の判断を行います。場合によっては管轄する保健所や教育委員会、納入業者等との連携が必要となるため、組織で対応します。
- ・ 混入経路の特定に努め、再発防止策を検討します。再発防止策は、全教職員で共通理解を図ります。
- ・ 異物混入による被害を受けた児童生徒への精神的ケアに努めます。

異物混入対応マニュアル フロー図【調理場で異物が発見された場合】

※原料そのものに由来する物質（魚のウロコ・骨、食肉の鋭利な骨等以外）や食品の変色部分などは異物に含まない（食材のこげ、果物の種や皮、野菜の切れ端、米ぬか等）。

※①～⑧については、本ページ下欄の「各担当者の対応」を参照してください。



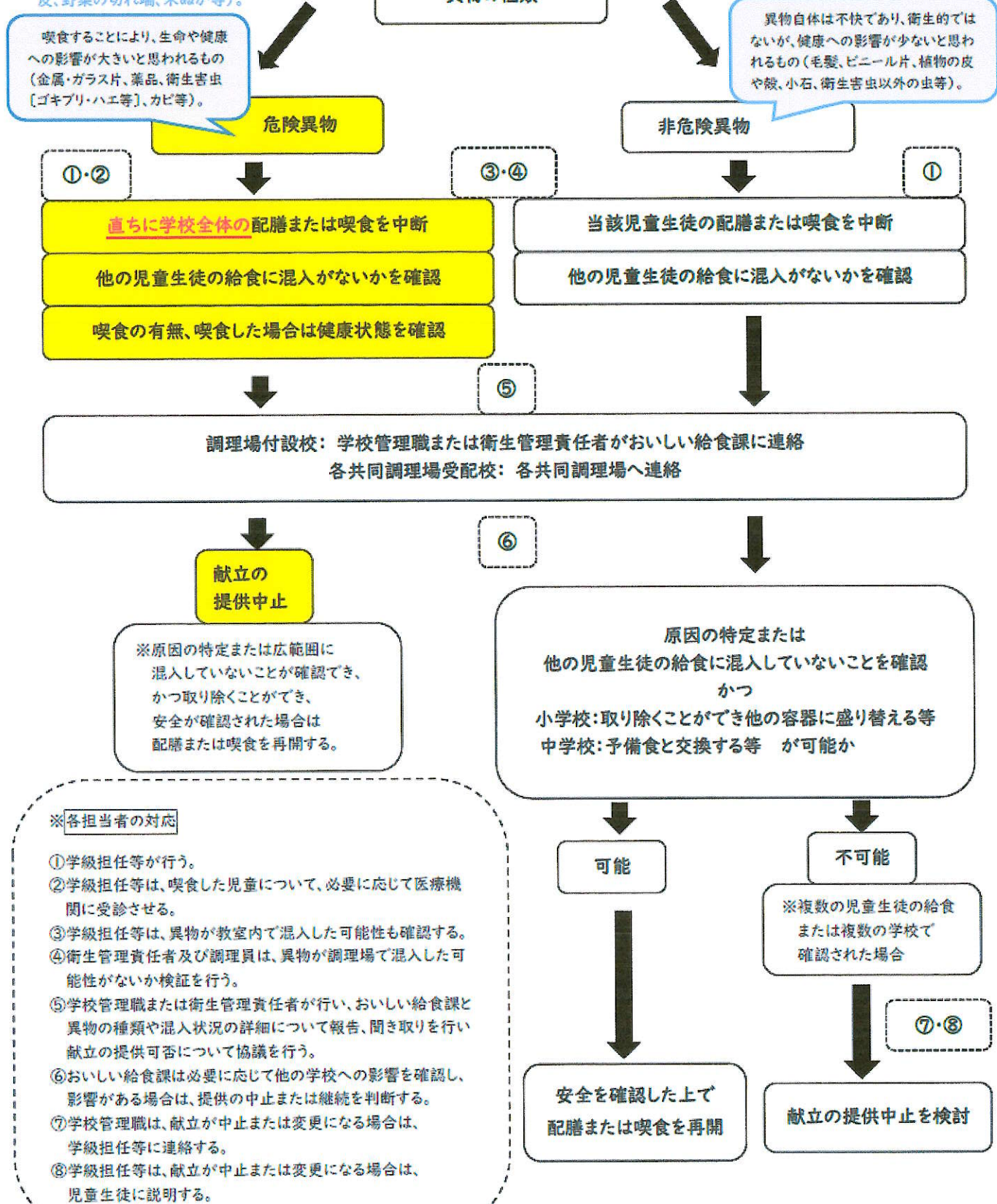
※各担当者の対応

- ①調理員は衛生管理責任者へ報告する。
- ②衛生管理責任者はおいしい給食課へ報告し、必要に応じて学校管理職へも報告する。
- ③衛生管理責任者とおいしい給食課は、異物の種類や混入状況の詳細について報告、聞き取りを行い、使用の可否について協議を行う。
- ④おいしい給食課は、必要に応じて他の調理場への影響を確認し、影響がある場合は使用の可否を判断する。
- ⑤交換ができない場合は、同食材等の確保について、他調理場との調整等を行う。
- ⑥交換及び⑤の調整ができない場合は、おいしい給食課と衛生管理責任者及び学校管理職と協議の上、献立の提供中止や変更を判断する。
- ⑦学校管理職は、献立が中止または変更になる場合は、学級担任等に連絡する。
- ⑧学級担任等は、献立が中止または変更になる場合は、児童生徒に説明する。

異物混入対応マニュアル フロー図【教室で異物が発見された場合】

※原料そのものに由来する物質（魚のウロコ・骨、食肉の鋭利な骨等以外）や食品の変色部分などは異物に含まない（食材のこげ、果物の種や皮、野菜の切れ端、米ぬか等）。

※①～⑧については、本ページ左下欄の「各担当者の対応」を参照してください。



喫食することにより、生命や健康への影響が大きいと思われるもの（金属・ガラス片、薬品、衛生害虫〔ゴキブリ・ハエ等〕、カビ等）。

異物自体は不快であり、衛生的ではないが、健康への影響が少ないと思われるもの（毛髪、ビニール片、植物の皮や殻、小石、衛生害虫以外の虫等）。

①・②

③・④

①

⑤

⑥

⑦・⑧

※各担当者の対応

- ①学級担任等が行う。
- ②学級担任等は、喫食した児童について、必要に応じて医療機関に受診させる。
- ③学級担任等は、異物が教室内で混入した可能性も確認する。
- ④衛生管理責任者及び調理員は、異物が調理場で混入した可能性がないか検証を行う。
- ⑤学校管理職または衛生管理責任者が行き、おいしい給食課と異物の種類や混入状況の詳細について報告、聞き取りを行い献立の提供可否について協議を行う。
- ⑥おいしい給食課は必要に応じて他の学校への影響を確認し、影響がある場合は、提供の中止または継続を判断する。
- ⑦学校管理職は、献立が中止または変更になる場合は、学級担任等に連絡する。
- ⑧学級担任等は、献立が中止または変更になる場合は、児童生徒に説明する。

3. 食物アレルギー対応

ア. 未然防止のポイント

- ・ 全教職員が食物アレルギーを有する児童生徒の実態や個別の取組プラン、緊急時の対応について共通理解を図ります。
- ・ 給食の受け取りに際しては、決められた確認作業（指さし声出し）を決められたタイミングで行い、誤食を予防します。
- ・ 主に対応を行っている学級担任等が不在となる場合には、事前に他の教職員に十分な引き継ぎを行います。
- ・ 校内アレルギー対応委員会を開催し、全教職員の共通理解のもと組織で対応します。
- ・ 文部科学省「学校給食における食物アレルギー対応指針」に基づき、事故発生時を想定した校内研修を実施します。緊急時の対応については、文部科学省作成のDVD等を活用し、全教職員で共通理解を図ります。

イ. 発生時対応の留意点

- ・ 緊急時対応マニュアルに基づき、救急措置をとります。
*緊急時対応マニュアルは各クラスに配付している赤ファイル内にあるものを活用してください。

アレルギー緊急対応マニュアル

アナフィラキシーを発症した! 対応の流れ

学校支援課

- 発見者
- ① 発症者から離れない
 - ② 助けを呼ぶ
 - ③ エピペン®と内服薬、AEDを持ってくるよう指示

A 「学校での役割分担」へ

緊急状況があるか?
5分以内に判断を下す!

B1 「緊急性の判断」へ

ある

ない

B2 「緊急対応をする」へ

- ただちにエピペン®注射
- 救急車を呼ぶ(119番通報)
- 安静を保つ
- 可能なら内服薬を飲ませる

C 「エピペン®使い方」へ

- 必要があれば内服薬を飲ませる
- 保健室へ移動する
- 悪化がないか、5分おきに症状をチェックする

ある

心肺機能に異常はないか?

ない

・心肺蘇生を行う

・症状チェックしながら救急車を待つ

・随時、容態や対応の記録をとる

4. 窒息事故防止

過去には、パンの早食いや、白玉団子やプラムを咀嚼せず誤って飲み込んだことによる児童生徒の窒息事故が発生しています。特に、水分が少ないものや思いがけず飲み込んでしまう可能性がある丸い形状のものは、咽頭部に詰まる危険性が高いため十分な注意が必要です。

ア. 未然防止のポイント

- ・ 食べ物は食べやすい大きさにして、よく噛んで食べるよう指導します。
- ・ 早食いは危険であることを指導します。
- ・ 給食の際は、学級担任等が注意深く児童生徒の様子を観察します。
- ・ 咀嚼 嚙しゃく及び嚥えん下げ の能力には個人差があるので、個別の対応が必要な児童生徒については、全教職員の間で共通理解を図ります。
- ・ 特別な支援を要する児童生徒については、食事中に必ず教職員が付き添い、目を離さないようにします。

表:窒息につながりやすい食品(日本小児科学会ガイドライン・提言より)

下線:頻度が高いもの

食品の形態、特性	食材	窒息を防ぐために実践できる対策、留意すべき点
丸いもの・つるつとしたもの	弾力性がある	ブドウ、ミニトマト、さくらんぼ、うずらの卵、球形のチーズ、 <u>ソーセージ</u> 、カップゼリー、こんにゃく
	粘着性が高い	白玉団子
	固い	<u>あめ</u> 、 <u>ピーナッツ</u> などの豆類、ラムネ
粘着性が高く、唾液を吸収して飲み込みづらいもの	餅、ごはん、 <u>パン類</u> 、焼き芋、カステラ、せんべい	<ul style="list-style-type: none"> ・水分を摂ってのどを潤してから食べる ・一口にたくさん詰め込まない ・良く噛んで食べているか、一口ずつ嚥下できているか、確認しながら与える ・一口量を自分で調節できない子どもには、無理なく口に入るサイズにちぎってから与える
固く噛み切りにくいもの	エビ、貝類	2歳以上になってから
	<u>リンゴ</u> 、生のにんじん、水菜、イカ	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳完了期までは、リンゴは加熱する(すりおろしても、大きめのカケラが混入する可能性がある) ・水菜は1-1.5cmに切る ・イカは小さく切って加熱するとさらに硬さが増すため注意
弾力性があり噛み切りにくいもの	きのこ類(えのき、しめじ、まいたけ、エリンギなど)	繊維に逆らい、1cm程度に切る
唾液を吸収して飲み込みづらいもの	焼き海苔	2歳以上になってから 刻みのりを、かける前にもみほぐし細かくする
	鶏ひき肉のそぼろ煮	豚肉との合いびきで使用する または片栗粉でとろみをつける
	ゆで卵 煮魚	細かくして、何かと混ぜる 味を染み込ませ、やわらかくしっかり煮込む

イ. 発生時対応の留意点

- ・ すぐに他の教職員を呼び、119 番通報を依頼します。救急隊が到着するまでの間は、詰まったものの除去を試みます。



図1 背部叩打法^{こうだ}

立て膝で太ももがうつぶせにした子供のみぞおちを圧迫するようにして、頭を低くして、背中の真ん中を平手で何度も連続して叩きます。なお、腹部臓器を傷付けないよう力を加減します。



図2 腹部突き上げ法

後ろから両腕を回し、みぞおちの下で片方の手を握り拳にして、腹部を上方へ圧迫します。

集中豪雨による水害発生時の対応

◎平成20年8月6日 午後5時頃に発生した重大事案

午後からの雨が、夕刻から集中豪雨状態となり、枚方市内のあちこちで冠水した。市役所前付近は30cmほどの冠水となり大渋滞した。

本校では、調理場前の低地が東西からの雨水の流入により一気に冠水し、体育館・玄関前が膝丈までの水深となった。調理場はあと数cmで屋内が冠水するところだった。調理場横の物置は冠水し、トイレトーパーなどの備蓄品が水没して使い物にならなくなった。

また、職員室のベランダ下が陥没して10cm程度の穴が数カ所に発生、そこから水が地下に流れていった。同じく、校長室東側の渡り廊下部分の下が陥没し、穴があいて雨水が地下へ流出した。その行き先や規模は不明である。

小学校付近では、調理場前の道路が東西からの雨水で80cmほどの水深まで冠水した。その結果、調理場向いにある住宅4軒のガレージが冠水し、駐車していた乗用車4台が水没した。また、通りかかった乗用車が冠水部に突っ込み、浮上して電柱に激突する事案が発生した。

◎ 本校とその周辺地域に水害（道路冠水、側溝の溢れを伴う規模）が発生した場合

1. 登校前に、大規模水害が発生した場合

・自宅待機とする

・集中豪雨情報等により今後の安全な状況が確認された場合は、通学路の冠水状況を点検し、安全な登校ができることを確認した上で、緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「授業実施」の連絡を入れる。時刻との関係は「台風接近時の措置」に従う。

2. 登校時・下校時に大規模水害が発生した場合

・通学路上にいる児童については、保護者の引率により自宅へ引き返す。緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「出迎え要請」の連絡を入れる。（在校児童については下記による）

・校内にいる児童については、教室で待機させる。

・緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「出迎え要請」の連絡を入れる。引き渡しは、保護者もしくは家族に限る。知人等の場合は保護者に連絡がつくまで学校待機とする。

3. 授業中に大規模水害が発生した場合

・速やかに緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「出迎え要請」の連絡を入れる。保護者に連絡がつかない場合は、教室で待機させる。

◎対応については、台風接近時の措置、枚方市地域防災計画に従って学校対応をすることを基本とする。

不審者対応マニュアル①

1 校内で来校者を見かけた場合

見かけた教職員は、「入校証」を着用しているかチェックする。

(1) 着用している場合

→ あいさつと声かけ

「こんにちは、どちらへご用ですか？」

→ 挙動不審の場合には、会議室か校長室まで案内する。

「ご用件をお聞きますのでこちらへお越しください。」等

⇒2へ

→ 案内を拒否した場合には、退去を求める。

「申し訳ございませんが、お引き取りいただけますか。」等と、丁寧に退去を求める。

⇒3へ

(2) 着用していない場合

「どちらさまですか？」と、声をかける。

→ 受付まで案内し、来校者名簿へ記入の上、「入校証」を着用してもらう。

→ 受付を拒否した場合には、会議室まで案内する。

「ご用件をお聞きますのでこちらへお越しください。」等

⇒2へ

→ 案内を拒否した場合には、退去を求める。

「申し訳ございませんが、お引き取りいただけますか。」等と、丁寧に退去を求める。

⇒3へ

2 会議室か校長室に案内した場合

案内する途中で他の教職員へ連絡する。それができないときは、会議室・校長室に通してから連絡し、複数教職員で対応する。

「本校では、来校者の皆さんに、必ず受付で来校者名簿に記入し、入校証を着用していただくようお願いしている。」ことを説明し、ご理解いただく。

「本校へどのようなご用件で来られましたか？」と、用件を確認する。

(1) 理解いただき、用件のある場合

来校者名簿へ記入の上、「入校証」を着用してもらい、用事のある場所まで案内する。

(2) 理解いただけない場合・用件のない場合

退去を求める。

「申し訳ございませんが、お引き取りいただけますか。」等と、丁寧に退去を求める。

⇒3へ

3 退去を求めた場合

(1) 退去した場合

退去を確認し、再度侵入しないよう監視する。

管理職から、枚方警察署 (072-845-1234)

教育委員会相談課(15-8047)

に連絡する。

(2) 退去を拒否した場合

危害を加える恐れがないかを判断する。

→ 恐れがないと判断する場合には、再度退去するよう説得する。

→ 退去した場合 ⇒3(1)退去した場合へ

→ 退去を拒否した場合 ⇒ただちに不審者緊急対応へ

→ 恐れがあると判断する場合 ⇒ただちに不審者緊急対応へ

不審者対応マニュアル②

◎来校者が不審行動を取った場合は、危害の有無や行動状況に関係なく、すべて不審者と見なし、「不審者緊急対応」を行う。

※ 不審者が発見された場合、事件対策本部を発動し、原則として下記の役割分担に従って行動する。

※ 近くの教職員は直ちにその場所に駆けつける。それ以外の教職員は、下記の役割分担に従って行動する。

※ 状況に応じ、本部の指示のもと臨機応変に対応する。

役割	名 前	発生時・直後の対応	中・長期的な対応
本部	校長 教頭 首席 主事	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の状況把握、統括及び指揮 ・警察(110番)、消防(119番)への通報 ・校内緊急放送 ・児童への指示の決定 ・教育委員会児童生徒課への連絡及び支援要請 ・近隣学校園への連絡 ・保護者(PTA本部役員等)への連絡 ・通信方法の確保(電話・FAX・携帯電話等) ・報道機関の対応 ・当日の下校方法の決定 ・今後の登下校方法・授業についての決定 ・保護者説明会の準備と開催 ・保護者あて連絡文の発行 ・記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・再発防止、学校再開のための総括 ・報告書の作成 ・保護者、地域住民との連携方策等の改善
安全・救護	各学級担任	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所・経路の設定 ・児童の誘導 ・児童の点呼 ・児童の状況把握 ・必要に応じ救護班の応援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心ケア着手 ・記録 ・負傷者に対するケア ・心のケア ・学校医等との連携体制の改善 ・安全教育の内容、指導体制等の見直し
	養護教諭, 担任外教員	<ul style="list-style-type: none"> ・負傷者の確認、全容把握 ・負傷者の応急手当 ・負傷者の搬出 ・救急車同乗及び搬送先からの連絡 ・負傷者搬送先の確認 ・負傷児童の保護者への連絡 ・学校医への連絡 	
侵入者対応	男子教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・侵入者対応 ・侵入者隔離 ・校内巡視 ・事件の情報収集、把握、整理 ・学校の安全状況の把握 ・地域の安全状況の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・再発防止策の検討と危機管理マニュアルの改善 ・組織(役割分担)の見直し

不審者緊急対応①

○ 対応者

- ・ 笛を吹く、大声を出す、大きな音を立てる、火災報知器を鳴らすなどして、周囲に危険を知らせる。音を聞いた職員はブザーや笛で音をリレーする。
- ・ 近くに児童がいる場合はすぐ逃げるように指示。児童と侵入者の間に入り、侵入者を児童に近づけないようにする。また侵入者の注意をそらして児童を侵入者から遠ざけるようにするなど、児童の安全を図る。
- ・ 侵入者を注視する。攻撃を仕掛けてきそうな場合は、距離をおきながら、机やイス、ほうき、消火器等防御できる身近な道具を用い、児童や自分自身に危害を加えられないようにしながら、時間をかせぐ。
- ・ 侵入者が逃げた時は笛を鳴らしながら追いかけて、逃げる先の児童等に危険を知らせる。
- ・ 児童に危害が及ばないよう最大限の努力をするとともに自らの身を守ること。
(対応者が負傷してしまうと、子どもを守ることができない。)
- ・ 児童が捉えられている場合は、侵入者に対して、興奮せず冷静になるように諭す。
「子どもを離さない。」「落ち着きなさい。」
侵入者に注意しつつ負傷した児童等の状況確認、応急手当を行う(救命を最優先)。

○ 本部(管理職や職員不在時は、気の付いた者が直ちに下記の順で行動する)

- ・ 管理職:直ちに「110番」、「119番」通報を指示。避難等の判断・決定・指示。情報の集約、通信方法の確保。
- ・ 職員1:火災報知器(職員室前にもある)や非常ベルを鳴らす
- ・ 職員2:緊急放送「工事が始まります。児童の皆さんは、〇〇付近には近寄らないようにして下さい。」
- ・ 職員3:「110番」通報。「山之上小学校です。不審者が侵入しました。(状況説明後) すぐ来て下さい。」
- ・ 職員4:「119番」通報。「山之上小学校です。不審者に児童が襲われました。(状況の説明)救急車をお願いします。」
- ・ 職員5:教育委員会へ連絡。支援と近隣学校園への連絡を要請。「山之上小学校です。不審者が侵入しました。(状況説明)警察に通報済みです。応援をお願いします。」
- ・ 職員6:PTA本部役員へ連絡、協力を要請:「学校に不審者が侵入、只今警察に通報し対応中。次の連絡まで待機ください。」

○ 安全確保

- ・ 避難場所・経路の決定(現場に近い状況の把握ができた者)
- ・ 教室(体育館)へ移動、各学年・組の児童の在室、負傷等状況の確認
- ・ 教室(体育館)で待機(放送等の指示を待つ)
- ・ 校外へ逃げた児童がいる可能性もあるので、情報を収集する。

○ 侵入者対応

- ・ 男子教員:現場へ急行する(防御に利用できる用具を持参する)。警察が到着するまで、被害が拡大しないよう、時間をかせぐ。侵入者が逃げた場合は、追跡する(校外に逃亡した場合は追わず、再侵入を阻止する)
- ・ 担任外全員:校内を巡視して、他の不審者の有無、逃げ遅れた児童や負傷者の有無を確認し、児童の安全を確保する。

○ 救助救護

- ・ 現場へ急行する。負傷者の応急手当、搬送の準備(救急車手配の要請)
- ・ 安全確保の応援(教室または避難場所への誘導とその他救護)
- ・ 負傷者のリストの作成(学年、組、名前、症状、処置、搬送先、付添者等の記録)
- ・ 救急車同乗及び搬送先からの連絡(本部、保護者)
非常袋(児童緊急連絡先名簿、関係機関連絡先一覧、テレホンカード、小銭、筆記用具、記録用紙等を入れた黄色い袋を保健室と教頭席に常備)の携行
- ・ 負傷者搬送先及び状況の確認 教頭

不審者緊急対応②（避難と待機）

- 1 侵入者があった場合で、緊急に避難させる必要があるかどうか分からない場合（近くに侵入者等がおらず、状況が不明の時）は、原則として状況が判明するまで、児童を教室等で待機させ、教職員が保護する。その後、放送の指示等により避難する。
- 2 教職員が児童の近くにおり、児童に指示できる場合は次のようにする。
 - (1) 児童を教室に待機させる場合
 - 教室の窓、扉を閉める。児童の人数確認後は施錠する。
 - 教室内では児童を出入り口から遠ざけておく。
 - 教職員は防御できるような道具（イス、サスマタ等）を持ち、侵入に備える。
 - 放送の指示があれば、指示に従い避難する。
 - 避難場所は、次のいずれかの指示がある。
 - * 体育館（原則） * 運動場
 - (2) 児童を緊急に避難させる場合（近くに侵入者がおり、緊急に児童の安全を確保するとき）
 - 侵入者から遠い方の階段・出入り口を使い、児童を避難させる。
 - 避難場所は、職員室、運動場、体育館等。状況によって、これ以外により安全なところを選び、誘導することもあり得る。
 - 侵入者が近づいてきて危険な場合は、物を投げつけたり、防御できるような物を用いたりして、児童が避難できるような時間を稼ぐ。
 - 避難する際、隣接する教室等にも大声で危険を知らせ、避難を促す。
- 3 休憩時間等で教職員が児童の近くにいない場合について、児童に日頃から次のように指示しておく。
 - 来校者カードをしていなかったり、危険な物を持っていたりする人を見かけたら、すぐにその人から遠くへ離れなさい。
 - できれば、先生のいそうな場所（職員室等）に逃げ、先生に知らせなさい。
 - もし、「教室に入りなさい」という放送があった場合は、すぐに教室に入ること。ただし、自分の近くに危険な物を持っている人や暴れている人がいるなどの場合は、すぐに先生のいそうなところに逃げなさい。

不審者緊急対応③

1. 学級担任が不審者を廊下で発見した(授業時間中)

- (ア) 声かけ「こんにちは、どちらさまですか？」不審者とわかれば下記に移る。
- (ア) 担任は、ブザーを鳴らすとともに鍵を持って廊下に出て教室に鍵をかけ、後ろ扉から教室に戻り、鍵をかける。
- (イ) 児童を落ち着かせ、直近の火災報知器を鳴らす。
- (ウ) 児童に鍵を開かせないように指示し、職員室に通報に走る。
- (エ) 放送の指示にしたがって児童の避難等の対応をする。

2. 担任以外の教職員が不審者を校内で発見した(授業時間中)

- (ア) 声かけ「こんにちは、どちらさまですか？」
- (イ) 可能な限り複数で会議室か校長室に案内し、一人が職員室通報、一人が落ち着かせる。
- (ウ) 通報を聞いた者が現場に急行、応援。
- (エ) 「不審者緊急対応」のとおり。

3. 教職員が不審者を校内で発見した(授業時間外)

- (ア) 声かけ「こんにちは、どちらさまですか？」
- (イ) 近くにいる児童に、そばを離れるように指示。
- (ウ) 可能な限り複数で会議室か校長室に案内し、一人が職員室通報、一人が落ち着かせる。
- (エ) 火災報知器を鳴らすとともに、校内放送で、児童に不審者のいない方へ避難指示。
- (オ) 「不審者緊急対応」のとおり。

4. 不審者が教室に侵入した

- (ア) 少しでも不審行動を感じたら、直ちに「出て行って下さい」と声をかける。
- (イ) 状況に応じて、児童を廊下に逃がすか、不審者と反対側に集めるか判断し、迅速に指示を与える。
- (ウ) 刃物等を持っているときには、児童椅子を構えて相手との距離を取る。
- (エ) 「不審者緊急対応」のとおり。

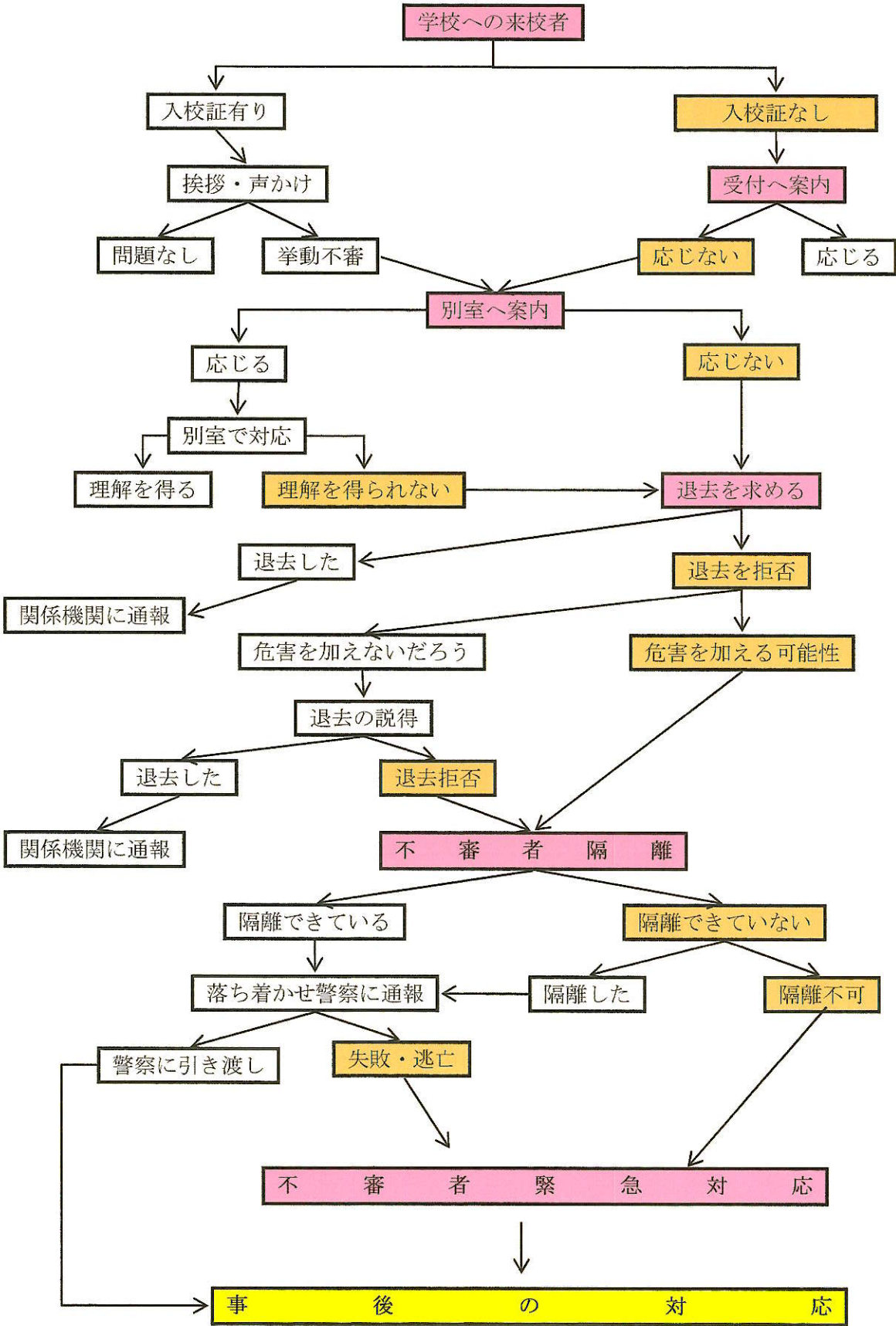
5. 不審者が学校周辺にいると通報があった

- ① 詳細を聞き取るとともに、警察への通報を確認し、まだであれば通報を依頼する。自動二機県が及ぶかを判断し、危険を感じた場合は学校からも110番通報する。
- ② 同時に、教育委員会に通報し応援を依頼する。
- ③ 警官が到着するまで、児童を鍵のかかる場所で保護する。(教室・体育館)
- ④ 警官が到着するまで、校内に侵入可能な場所(運動場門、正門、裏門、中庭の道路側)に立番をする。
- ⑤ 警官の指示に従う。

6. 不審者からの電話や手紙で脅迫を受けた

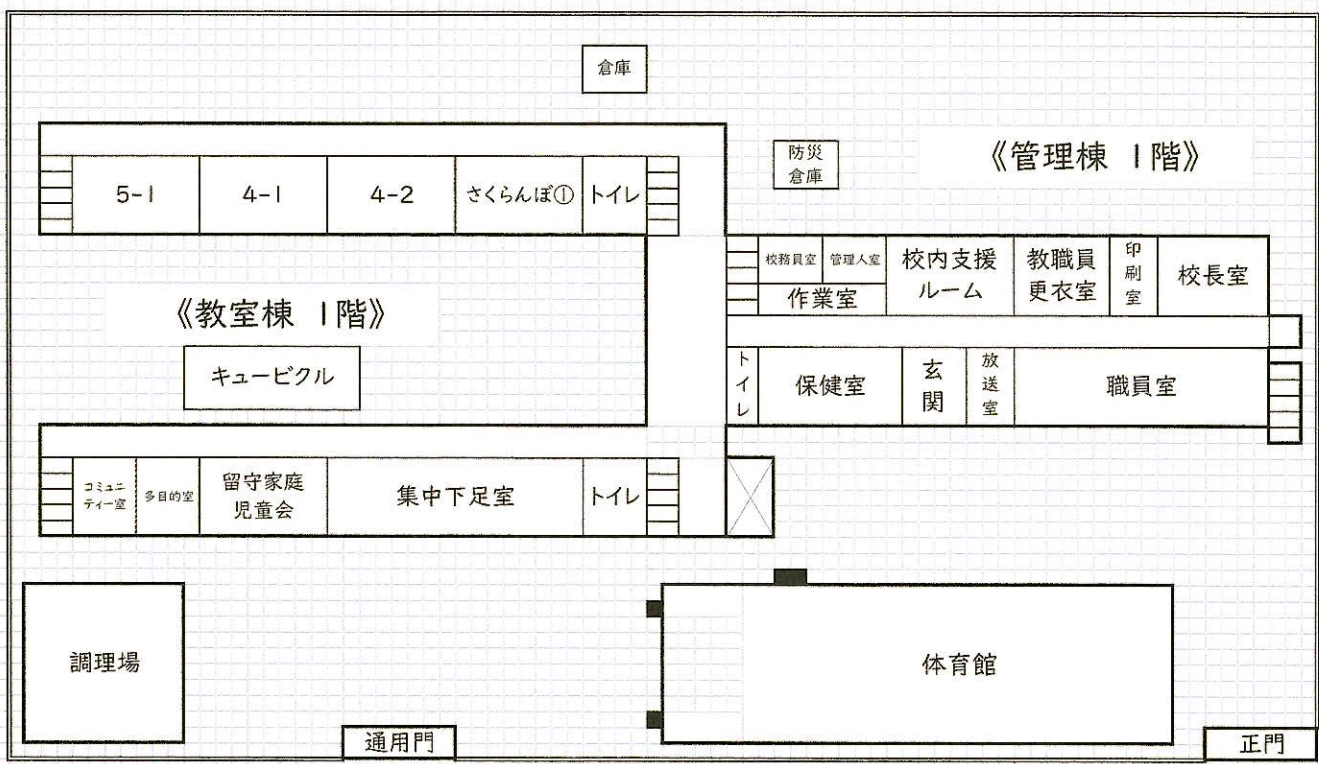
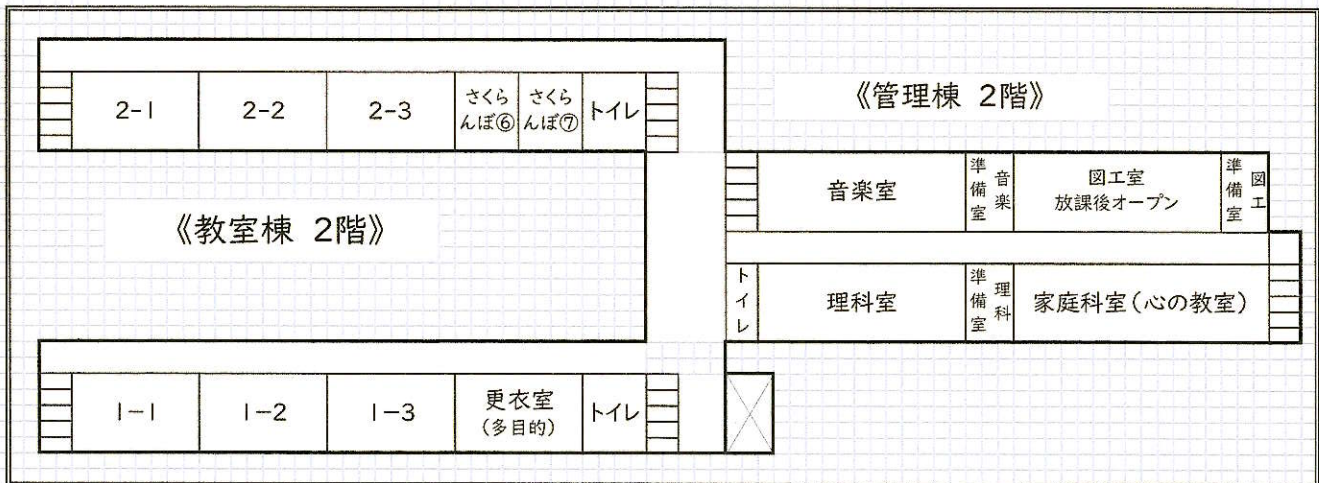
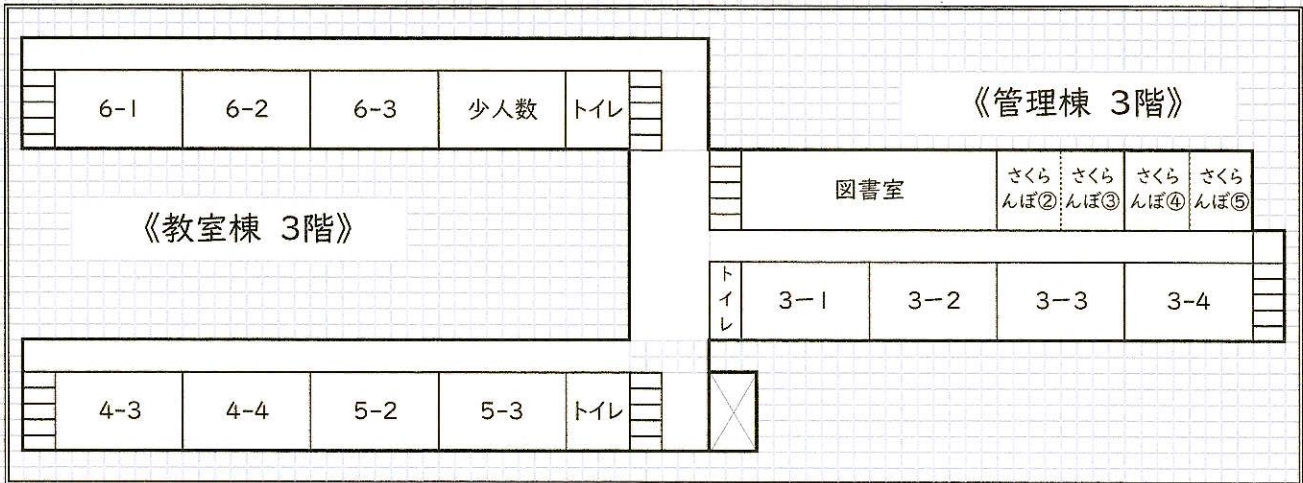
- ① 内容を確認し、ただちに警察と教育委員会に通報する。
- ② 警察や教育委員会の指導を受けながら、状況に応じて判断する。

不審者侵入時のフローチャート



令和6年度 教室配置図 枚方市立山之上小学校

5月31日



水泳指導時の緊急対応マニュアル

1. 人身事故が発生した場合の基本

- ・児童の生命を最優先に、傷病者を救助し安全な場所へ移送する。
- ・適切な応急措置を行う。
- ・ただちに119番通報を行う。
- ・同時に二次災害を防ぐために遊泳者を速やかにプールサイドに避難させる。
- ・教職員へ応援要請を行う。
- ・管理職、養護教諭への連絡をする。

2. 消防署への通報の仕方

- ・「こちらは山之上小学校の〇〇です」
 - ・「プールでおぼれる事故が発生しました(事故内容の通知)」
- ・「児童の状態は〇〇です(児童状況を報告)」
- ・「住所は山之上1丁目32番1号です、電話番号は050-7102-9068です」

3. 救急車が到着するまでの応急措置

- ・すみやかな心肺蘇生法の実施、AEDの使用
- ・外傷等の応急手当を施し、保温措置

4. 管理職の対応

- ・事実確認を行い、全体の把握をする
- ・児童や教職員への行動指示をする
- ・保護者へ連絡をとる
- ・市教委(教育相談課・学務課)へ連絡する
- ・経過を記録する

5. 施設に異常が発生した場合

- ・危険箇所に児童を近づけないように指示する
- ・児童を直ちに避難させ、プール授業を中止する
- ・プールの使用を中止した場合は、原因が特定され、修理が完了するまで再開しない。
- ・排水口に異常(ガードの破損、ゆるみ、詰まり等)が発見された時には、ただちに児童をプールサイドに上げ、浄化装置、ポンプを停止する。
- ・すみやかに施設課に連絡を取り修理を依頼する。

6. 水質等の管理

- ・学校薬剤師による定期的な水質管理を行い、日々の水質管理を徹底する
- ・水に汚濁や異物混入を発見した場合は、プール授業を中止し、学校薬剤師に点検を依頼する
 - ・ガラス片等が発見された場合は、授業を中止し、消防署に連絡した上で排水し、プール底を清掃する。
- ・昆虫、貝類等が発生した場合は、学校薬剤師に点検を依頼する
- ・清浄な水質管理のため児童の日焼け止め等の薬剤の使用は禁止する

全体計画別業作成資料 1年 道徳と教科等との関連(指導時期順)

低学年の重点指導内容	A 善悪の判断、自律、自由と責任 B 礼儀
------------	--------------------------

全学年を通しての重点指導内容	A 節度、節制 B 親切、思いやり C 規則の尊重 D 生命の尊さ E 自然愛護
----------------	--

* 単元名の○数字は配当時間数を示す。

教科他/月	4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
道徳	1「わたしの すきな こと」 B 礼儀 A 個性の伸長 肯定感 2「みんな いっしょ」 A 節度、節制 C 公正、社会正義 スタートカリキュラム、いじめ防止 スタートカリキュラム、いじめ防止 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	12「どきどき どきどき」 D 生命の尊さ 生命の尊重 13「あめが あがって…」 D 感動、畏敬の念 環境教育 14「みんな だれかに」 B 感謝 教育、生命の尊重 15「よみかき」 C 規則の尊重 防災・安全	10「はしの うえの おおきみ」 B 親切、思いやり いじめ防止 11「はしの あかさつ」 D 自然愛護 環境教育 12「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 13「あめが あがって…」 D 感動、畏敬の念 環境教育 14「みんな だれかに」 B 感謝 教育、生命の尊重 15「よみかき」 C 規則の尊重 防災・安全	16「はしの うえの おおきみ」 C 国際理解、国際尊重 国際理解、教育 17「くまの つる」 A 希望と勇気、努力と強い意志 自己肯定感 18「だめ」 A 善悪の判断、自律、自由と責任 いじめ防止 19「よみかき」 B 友情、信頼 いじめ防止 防災・安全	20「はかの くからきた たぬき」 C 国際理解、国際尊重 国際理解、教育 21「かぼちの つる」 A 節度、節制 環境教育 22「みつけて みよう」 C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 郷土・地域 23「どきどき」 A 正直、誠実 防災・安全	24「はなばあちゃん が わらった」 B 親切、思いやり 環境教育 25「どうぶつ の かぞへ」 C 家族愛、家庭生活の充実 環境教育 26「ええええ」 A 個性の伸長 いじめ防止、自己肯定感 27「おたじょうびカード」 B 礼儀 防災・安全 28「みんなの ボール」 C 規則の尊重 主権者教育 29「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり	25「ええええ」 A 個性の伸長 いじめ防止、自己肯定感 26「ええええ」 A 個性の伸長 いじめ防止、自己肯定感 27「おたじょうびカード」 B 礼儀 防災・安全 28「みんなの ボール」 C 規則の尊重 主権者教育 29「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり	26「ええええ」 A 個性の伸長 いじめ防止、自己肯定感 27「おたじょうびカード」 B 礼儀 防災・安全 28「みんなの ボール」 C 規則の尊重 主権者教育 29「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり	27「ええええ」 A 個性の伸長 いじめ防止、自己肯定感 28「みんなの ボール」 C 規則の尊重 主権者教育 29「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり	28「ええええ」 A 個性の伸長 いじめ防止、自己肯定感 29「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり	30「ええええ」 D 自然愛護 環境教育 31「ええええ」 D 生命の尊さ 生活の充実 32「ええええ」 C よい学校生活、集団生活の充実
学校行事	1 学期始業式 A 節度、節制 入学式 B 礼儀 B 親切、思いやり C よい学校生活、集団生活の充実 身体計測 C 家族愛、家庭生活の充実 D 生命の尊さ	交通安全教室 C 規則の尊重 D 生命の尊さ 内科検診 D 生命の尊さ 眼科検診 D 生命の尊さ 耳鼻科検診 D 生命の尊さ	資料検診 D 生命の尊さ 遊藝訓練(振替) D 生命の尊さ C よい学校生活、集団生活の充実 プール開き D 生命の尊さ	進級式 E 感謝、信頼 D 自然愛護 C 規則の尊重 1 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀 2 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀 運動会 A 希望と勇気、努力と強い意志 B 友情、信頼 C よい学校生活、集団生活の充実 秋の緑化活動 D 生命の尊さ D 自然愛護 D 感動、畏敬の念 避難訓練(水災) D 生命の尊さ	2 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀 身体計測 C 家族愛、家庭生活の充実 1 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀 運動会 A 希望と勇気、努力と強い意志 B 友情、信頼 C よい学校生活、集団生活の充実 秋の緑化活動 D 生命の尊さ D 自然愛護 D 感動、畏敬の念 避難訓練(水災) D 生命の尊さ	2 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀 身体計測 C 家族愛、家庭生活の充実 1 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀 運動会 A 希望と勇気、努力と強い意志 B 友情、信頼 C よい学校生活、集団生活の充実 秋の緑化活動 D 生命の尊さ D 自然愛護 D 感動、畏敬の念 避難訓練(水災) D 生命の尊さ	2 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀 身体計測 C 家族愛、家庭生活の充実 1 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀 運動会 A 希望と勇気、努力と強い意志 B 友情、信頼 C よい学校生活、集団生活の充実 秋の緑化活動 D 生命の尊さ D 自然愛護 D 感動、畏敬の念 避難訓練(水災) D 生命の尊さ	2 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀 身体計測 C 家族愛、家庭生活の充実 1 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀 運動会 A 希望と勇気、努力と強い意志 B 友情、信頼 C よい学校生活、集団生活の充実 秋の緑化活動 D 生命の尊さ D 自然愛護 D 感動、畏敬の念 避難訓練(水災) D 生命の尊さ	2 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀 身体計測 C 家族愛、家庭生活の充実 1 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀 運動会 A 希望と勇気、努力と強い意志 B 友情、信頼 C よい学校生活、集団生活の充実 秋の緑化活動 D 生命の尊さ D 自然愛護 D 感動、畏敬の念 避難訓練(水災) D 生命の尊さ	2 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀 身体計測 C 家族愛、家庭生活の充実 1 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀 運動会 A 希望と勇気、努力と強い意志 B 友情、信頼 C よい学校生活、集団生活の充実 秋の緑化活動 D 生命の尊さ D 自然愛護 D 感動、畏敬の念 避難訓練(水災) D 生命の尊さ	2 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀 身体計測 C 家族愛、家庭生活の充実 1 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀 運動会 A 希望と勇気、努力と強い意志 B 友情、信頼 C よい学校生活、集団生活の充実 秋の緑化活動 D 生命の尊さ D 自然愛護 D 感動、畏敬の念 避難訓練(水災) D 生命の尊さ
特別活動	1 年生を迎える会 B 感謝 係を決めよう C 勤労、公共の精神 自分の名前をつくる A 個性の伸長 2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感	2「はなの はなさいだけ」 B 親切、思いやり 3「あかさつを する」と B 礼儀 スタートカリキュラム 4「まちがが よいの は？」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、自己肯定感 5「わたしの すきな こと」 B 礼儀 スタートカリキュラム、自己肯定感 6「きをつけて」 A 節度、節制 スタートカリキュラム、安全、消費者教育 7「がっこうの もの は？」 C 規則の尊重 情報モラル、主権者教育 8「ハムスターの あかさつ」 D 生命の尊さ E 感謝 スタートカリキュラム 9「うさぎの うさぎ」 A 希望と勇気、努力と強い意志 心身の健康、自己肯定感

全体計画別業作成資料 4年 道徳と教科等との関連(指導時期順)

A節度、節制
B親切、思いやり
C規則の尊重
D生命の尊さ
D自然尊重

A善悪の判断、自律、自由と責任 A希望と勇気、努力と強い意志 B友情、信頼 C勤労、公共の精神
--

* 単元名の数字は配当時間数を示す。

教科他/月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
道徳	1「なにかおまつたいですか?」 A善悪の判断、自律、自由と責任 ダイバーシティ	4「どんな橋のことでしょ」 A節度、節制 防災・安全	7「がんばれ、ぼくからだ!」 D生命の尊さ 生命の尊重、心身の健康	11「いっしょに遊ばない」 B友情、信頼 情報モラル、いじめ防止	13「わたしの見つけた小さな幸せ」 D生命の尊さ 生命の尊重	17「お母さんのせいさゆう書」 C家族愛、家庭生活の充実 親士を愛する態度	21「ふるさとをすくった大いチャック」 C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 親士・地域	25「点字メニューにちようせ」 C勤労、公共の精神 ダイバーシティ	27「うめのき村の四人兄弟」 A個性の伸長 自己肯定感	30「雨のバスでいりゆめう所」 C規則の尊重 防災・安全	31「花さき山」 D感動、畏敬の念 花丸手紙とともに—池江鞠花子選手のちようせ	34「ボロといっしょ」 B親切、思いやり 防災・安全
学校行事	1学期始業式、節度、節制 B 礼儀 入学式 B 親切、思いやり B 礼儀 C 思いやり C 勤労、公共の精神 運動会 C 希望と勇気、努力と強い意志 自己肯定感	3「やっただぞ!」 漢字テスト A希望と勇気、努力と強い意志 自己肯定感	6「もっご」をせおつて」 C勤労、公共の精神 防災・安全	9「どなのせき」 C公正、公平、社会正義 いじめ防止	15「いっしょのせきに『ありがと』」 D感動、畏敬の念 環境教育	16「目ざまし時計」 A節度、節制 善悪の判断、自律、自由と責任 いじめ防止、主権者教育	19「ふれあいの森」で」 D自然愛護 環境教育	23「ぼくらだってオーケスト」 B友情、信頼 自己肯定感	28「いざななお父さん」 C家族愛、家庭生活の充実 生命の尊重、食育	29「バレルの木の」 D生命の尊さ 生命の尊重、食育	32「大きな絵はがき」 B友情、信頼 33「世界の小学生」 C国際理解、国際親善 国際理解	35「花丸手紙とともに—池江鞠花子選手のちようせ」 A希望と勇気、努力と強い意志 キャリア教育
特別活動	1年生を招く会 B 親切、思いやり 係を求めよう C 勤労、公共の精神 3年生にカギを認めよう B 親切、思いやり C 規則の尊重 C 思いやり C 勤労、公共の精神 自己肯定感	2「Let's play cards.」 C 国際理解、国際親善 31「Hello, world!」 C 国際理解、国際親善	4「What time is it?」 C 国際理解、国際親善 41「What time is it?」 C 国際理解、国際親善	5「Do you have a pen?」 C 国際理解、国際親善 6「Alphabet」 C 国際理解、国際親善	7「What do you want?」 C 国際理解、国際親善 71「What do you want?」 C 国際理解、国際親善	8「This is my favorite place.」 C 国際理解、国際親善 81「This is my favorite place.」 C 国際理解、国際親善	9「This is my day.」 C 国際理解、国際親善 91「This is my day.」 C 国際理解、国際親善					
外国語活動												
総合的な学習												

※総合的な学習の時間のおおむね、各学校におけるカリキュラムと道徳の価値項目を関連させて指導する。

全体計画別業作成資料 3年 道徳と教科等との関連(指導時期順)

東京書籍

A善悪の判断、自律、自由と責任 A希望と勇氣、努力と強い意志 B友情、信頼 C勤労、公共の精神
--

A節度、節制 B親切、思いやり C規則の尊重 D生命の尊さ E自然愛護

*単元名の○数字は配当時間数を示す。

教科他/月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
道徳	1「あいさつをする」と B礼儀 内容項目 環境教育 2「オアシス・スズメジ(いのちのまっわり)」 D生命の尊さ 内容項目 生命の尊重 3「ふっかつからちゃんの町じま」 C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 内容項目 郷土・地域	4「ツバサの赤ちやん」 D自然愛護 環境教育 5「めうすけの朝」 A節度、節制 防災・安全 6「ぬれた木——ランカーン」 A正直、誠実 7「みんなの学校なのに」 Cよりよい学校生活、集団生活の充実 いじめ防止、主権者教育	7「みんなの学校なのに」 Cよりよい学校生活、集団生活の充実 いじめ防止、主権者教育 8「いーち、にいっ、いーち、どいっ」 B友情、信頼 いじめ防止 9「SL公園で」 A善悪の判断、自律、自由と責任 10「一さつのおくもの」 B親切、思いやり	11「作ひんのかち」 C規則の尊重 情報モラル、法教育、知的財産 12「ごみステーション」 C勤労、公共の精神 主権者教育 13「いーだいたいいのち」 D生命の尊さ 14「ごうすけならだいたいおぼ」 A節度、節制 15「きまりじゃないか」 C規則の尊重 法教育 16「ホテルの引っこし」 D自然愛護 環境教育、SDGs	17「みさきさんのえがき」 C公正、公平、社会正義 いじめ防止 18「熱えて！なんでもぞうだん(ぞう)」 C勤労、公共の精神 キャリア教育 19「かしたつのもり×もらったつのもり」 B相互理解、寛容 いじめ防止 20「ーりん車にのれた」 A希望と勇氣、努力と強い意志 自己肯定感	21「三つの国」 C国際理解、国際親善 国際理解 22「たまちやん、大すぎ」 B友情、信頼 23「耳の間こえないお母さんへ」 C家族愛、家庭生活の充実 24「六へえじいどちよ」 B親切、思いやり	25「百羽のづる」 D感動、畏敬の念 いじめ防止 26「よむむし大助」 A善悪の判断、自律、自由と責任 いじめ防止 27「やさしい人大さくせん」 B親切、思いやり 自己肯定感 28「じゃがいもの歌」 A個性の伸長 自己肯定感 29「なまじいから」 B友情、信頼 いじめ防止 30「ぼくのおぼあちやん」 C家族愛、家庭生活の充実 31「しあわせの王子」 D感動、畏敬の念 32「そのま立つ、伊子松山城」 C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 33「おじいちゃん、おばあちゃん、見てね」 D生命の尊さ 生命の尊重、防災・安全	34「大團圓のツクナみなみ木」 B感謝 キャリア教育 35「あみんぼんの目」 村安兵衛・英三朗 A希望と勇氣、努力と強い意志 キャリア教育					
学校行事	1学期始業式、節度、節制 B 礼儀 入学式 B親切、思いやり B礼儀 Cよりよい学校生活、集団生活の充実 身体技能 Cよりよい学校生活、集団生活の充実 D生命の尊さ 2学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	3学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	4学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	5学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	6学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	7学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	8学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	9学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	10学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	11学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	12学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	13学期始業式、節度、節制 B 礼儀 交通安全教室 D生命の尊さ D規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	
特別活動	1年生を迎える会 B親切、思いやり 係を求めよう C勤労、公共の精神 はじめのめがたろ活動 A個性の伸長 希望のめがたろ活動 A個性の伸長 希望のめがたろ活動 A個性の伸長	2「How are you?」 B 友情、信頼 3「Hello!」 C 国際理解、国際親善 B 礼儀	4「I like blue.」 ④ A 個性の伸長 5「What do you like?」 ④ B 友情、信頼 6「ALPHABET」 ④ C 国際理解、国際親善	7「This is for you.」 ⑤ B 友情、信頼 8「What's this?」 ⑤ A 真理の探究	9「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼 10「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	11「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼 12「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	13「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼 14「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	15「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼 16「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	17「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼 18「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	19「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼 20「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	21「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼 22「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	23「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼 24「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	25「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼 26「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼
外国語活動	1「Hello!」 C 国際理解、国際親善 B 礼儀	2「How are you?」 B 友情、信頼	3「How many?」 ④ C 国際理解、国際親善	4「I like blue.」 ④ A 個性の伸長	5「What do you like?」 ④ B 友情、信頼	6「ALPHABET」 ④ C 国際理解、国際親善	7「This is for you.」 ⑤ B 友情、信頼	8「What's this?」 ⑤ A 真理の探究	9「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	10「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	11「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	12「Who are you?」 ⑥ B 友情、信頼	
総合的な学習	※総合的な学習の時間のねらいをふまえ、各学校におけるカリキュラムと道徳の価値項目を関連問題させて指導する。												

※総合的な学習の時間のねらいをふまえ、各学校におけるカリキュラムと道徳の価値項目を関連問題させて指導する。

会社	教科
東書	国語
光村	書写
教出	社会

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>【あなごのこと、教えて】①A希望とB相互理解、寛容 【音節を聞き合おう】「はい、せ んのアップ」①D自然発露 【図書館へ行こう】②C規則の 尊重、①Bよい学校生活、集団 生活の充実 【国語で楽しむ】①A希望 とB相互理解、寛容 【メネを脱けなげよう】①A希 望とB相互理解、寛容 【読んで楽しむ】①A希望とB 相互理解、寛容 【おもしろい】①A希望とB相互 理解、寛容</p>	<p>【おぼろげの心】①A希望とB 相互理解、寛容 【わたしの説明文を書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【物語をきかせよう】①A希望 とB相互理解、寛容 【人物やものの様子を書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【心が動いたことを詩で表そ う】①A希望とB相互理解、寛 容 【ローマ字】②C国際理解、 国際親善</p>	<p>【書き手のくふうを考えよう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【朝食だより】①A希望とB相互 理解、寛容 【三単生の木だま】②D感動、 共感の念、C伝説と文化の尊 重、国や郷土を愛する態度 【案内の手紙を書こう】①B礼 儀 【慣用句を使おう】③C伝説と 文化の尊重、国や郷土を愛す る態度 【グループの合い言葉を書き よう】①B伝説、国や郷土を愛 する態度 【主語と述語をつなぐ】①A希 望とB相互理解、寛容 【中心人物について書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【おもしろい】①A希望とB相互 理解、寛容</p>	<p>【書き手のくふうを考えよう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【朝食だより】①A希望とB相互 理解、寛容 【三単生の木だま】②D感動、 共感の念、C伝説と文化の尊 重、国や郷土を愛する態度 【案内の手紙を書こう】①B礼 儀 【慣用句を使おう】③C伝説と 文化の尊重、国や郷土を愛す る態度 【グループの合い言葉を書き よう】①B伝説、国や郷土を愛 する態度 【主語と述語をつなぐ】①A希 望とB相互理解、寛容 【中心人物について書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【おもしろい】①A希望とB相互 理解、寛容</p>	<p>【書き手のくふうを考えよう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【朝食だより】①A希望とB相互 理解、寛容 【三単生の木だま】②D感動、 共感の念、C伝説と文化の尊 重、国や郷土を愛する態度 【案内の手紙を書こう】①B礼 儀 【慣用句を使おう】③C伝説と 文化の尊重、国や郷土を愛す る態度 【グループの合い言葉を書き よう】①B伝説、国や郷土を愛 する態度 【主語と述語をつなぐ】①A希 望とB相互理解、寛容 【中心人物について書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【おもしろい】①A希望とB相互 理解、寛容</p>	<p>【書き手のくふうを考えよう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【朝食だより】①A希望とB相互 理解、寛容 【三単生の木だま】②D感動、 共感の念、C伝説と文化の尊 重、国や郷土を愛する態度 【案内の手紙を書こう】①B礼 儀 【慣用句を使おう】③C伝説と 文化の尊重、国や郷土を愛す る態度 【グループの合い言葉を書き よう】①B伝説、国や郷土を愛 する態度 【主語と述語をつなぐ】①A希 望とB相互理解、寛容 【中心人物について書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【おもしろい】①A希望とB相互 理解、寛容</p>	<p>【書き手のくふうを考えよう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【朝食だより】①A希望とB相互 理解、寛容 【三単生の木だま】②D感動、 共感の念、C伝説と文化の尊 重、国や郷土を愛する態度 【案内の手紙を書こう】①B礼 儀 【慣用句を使おう】③C伝説と 文化の尊重、国や郷土を愛す る態度 【グループの合い言葉を書き よう】①B伝説、国や郷土を愛 する態度 【主語と述語をつなぐ】①A希 望とB相互理解、寛容 【中心人物について書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【おもしろい】①A希望とB相互 理解、寛容</p>	<p>【書き手のくふうを考えよう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【朝食だより】①A希望とB相互 理解、寛容 【三単生の木だま】②D感動、 共感の念、C伝説と文化の尊 重、国や郷土を愛する態度 【案内の手紙を書こう】①B礼 儀 【慣用句を使おう】③C伝説と 文化の尊重、国や郷土を愛す る態度 【グループの合い言葉を書き よう】①B伝説、国や郷土を愛 する態度 【主語と述語をつなぐ】①A希 望とB相互理解、寛容 【中心人物について書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【おもしろい】①A希望とB相互 理解、寛容</p>	<p>【書き手のくふうを考えよう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【朝食だより】①A希望とB相互 理解、寛容 【三単生の木だま】②D感動、 共感の念、C伝説と文化の尊 重、国や郷土を愛する態度 【案内の手紙を書こう】①B礼 儀 【慣用句を使おう】③C伝説と 文化の尊重、国や郷土を愛す る態度 【グループの合い言葉を書き よう】①B伝説、国や郷土を愛 する態度 【主語と述語をつなぐ】①A希 望とB相互理解、寛容 【中心人物について書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【おもしろい】①A希望とB相互 理解、寛容</p>	<p>【書き手のくふうを考えよう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【朝食だより】①A希望とB相互 理解、寛容 【三単生の木だま】②D感動、 共感の念、C伝説と文化の尊 重、国や郷土を愛する態度 【案内の手紙を書こう】①B礼 儀 【慣用句を使おう】③C伝説と 文化の尊重、国や郷土を愛す る態度 【グループの合い言葉を書き よう】①B伝説、国や郷土を愛 する態度 【主語と述語をつなぐ】①A希 望とB相互理解、寛容 【中心人物について書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【おもしろい】①A希望とB相互 理解、寛容</p>	<p>【書き手のくふうを考えよう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【朝食だより】①A希望とB相互 理解、寛容 【三単生の木だま】②D感動、 共感の念、C伝説と文化の尊 重、国や郷土を愛する態度 【案内の手紙を書こう】①B礼 儀 【慣用句を使おう】③C伝説と 文化の尊重、国や郷土を愛す る態度 【グループの合い言葉を書き よう】①B伝説、国や郷土を愛 する態度 【主語と述語をつなぐ】①A希 望とB相互理解、寛容 【中心人物について書こう】 ①A希望とB相互理解、寛容 【おもしろい】①A希望とB相互 理解、寛容</p>

年間計画(事務部)

令和6(2024)年度

分掌名(事務部) 事務	担当者(主担者に○) ○清水		
◎ 本年度の学校目標 「わかる・できる・考える」子ども			
◎ 本年度の目標 豊かな人間力と確かな学力を持つ子どもの育成を支援する学校事務			
◎ 本年度の計画			
	学校予算	学校園徴収金	給与・旅費
4月	予算説明会 物品購入希望調査	教材選定 予算書作成、配布	異動者認定手続 旅行命令簿 25日×
5月	予算計画書作成 備品購入	5/10、5/17振替 (校外学習 5年宿泊学習)	旅行命令簿 25日×
6月	夏用備品納品	6/7、6/14振替 (校外学習)	期末勤勉 旅行命令簿 25日×
7月		7/11、7/19振替 教材費支払	旅行命令簿 25日×
8月	1期・PC 備品納品		旅行命令簿 25日×
9月	2期備品納品	9/12、9/19振替 校外学習	旅行命令簿 25日×
10月		10/10、10/18振替 校外学習・6年宿泊学習	通勤手当事後確認 旅行命令簿 25日×
11月		11/8、11/15振替 校外学習	年末調整 旅行命令簿 25日×
12月	3期備品・一括購入納品	12/6、12/13振替 教材費支払	期末勤勉・源泉徴収票 旅行命令簿 25日×
1月		1/10、1/17振替	昇給発令 旅行命令簿 25日×
2月		2/7、2/14振替	旅行命令簿 25日×
3月	予算締め 追加備品納入	3/6、3/13振替、 校外学習、教材費支払	旅行命令簿 25日×
◎ 具体策・留意点など			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の充実や学力向上、安全な学校生活のために学校予算を効果的に執行する。 ・「枚方市立学校園徴収金事務取扱要項」に則った運営と保護者負担軽減のために学年会計担当者とともに無駄のない効率的な運用を行う。 ・給与、旅費、手当等 正確で迅速な届出を徹底し、遅れ間違いのない事務処理を行う。 			

通常日課

朝学習	8:30~8:45
1時間目	8:45~9:30
2時間目	9:35~10:20
20分休み	10:20~10:40
3時間目	10:40~11:25
4時間目	11:30~12:15
給食	12:15~1:00
昼休み	1:00~1:20
そうじ	1:20~1:35
移動・準備	1:35~1:40
5時間目	1:40~2:25
6時間目	2:30~3:15
下校 (最終下校)	3:30

水曜日(水曜校時日)

朝学習	8:30~8:45
1時間目	8:45~9:30
2時間目	9:35~10:20
20分休み	10:20~10:40
3時間目	10:40~11:25
4時間目	11:30~12:15
給食	12:15~1:00
昼休み	1:00~1:20
5時間目	1:20~2:05
6時間目	2:15~3:00
最終下校	3:10

40分4時間授業

朝学習	8:30~8:45
1時間目	8:45~9:25
2時間目	9:30~10:10
20分休み	10:10~10:30
3時間目	10:30~11:10
4時間目	11:15~11:55
給食	11:55~12:40
最終下校	1:00

毎月1回※木曜 児童集会(ビデオ放送を含む)

第1学年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	△	△	△	△	△

第2学年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	△	△	△	△	○

第3学年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	△	○	△	○	○

第4~6学年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	○	○	委 ク	○	○

学年別年間指導計画【小学1年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 写真や本などから情報を集めることができる。 (I-2) 目的を考えて、発表したりすることができる。
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 情報を仲間で分けたり、整理したりすることができる。 (II-2) 分かりやすく表現することができる。 (II-3) できるようになったことに気づくことができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 分解して考えたり、問題の解決方法を考えたりすることができる。 (III-2) 問題の解決や表現するために、順次(順番ごとにする)や反復(繰り返し)を使って考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 自分や他の人たちの情報を大切にし、ルールを守って安全にコンピュータなどをつかうことができる。 (IV-2) コンピュータやインターネットの基本的なルールやマナーがわかる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語			○さとうとしお (I-1)		○ことばあそび うたをつくろう (I-2)	○いろいろなふ ね(I-1)	○おもい出して かこう(I-2)		○おはなしをか こう(II-2)	○ことばをあつ めよう(I-2) ○スイミー(II- 2)	○1年かんを ふりかえろう (II-3)
算数	通年 見学や調査などの記録をとる、ネット上の情報を集める(I)学習したことをまとめて発表したりする(II) コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。										
					○わかりやすく せいりしよう (II-1)						○かたちづくり (II-2)
生活	通年 実験や観察などの記録をとる、ネット上の情報を集める(I)学習したことをまとめて発表したりする(II) コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。										
				○なつとなかよ し(I-1)	○生きもの大す き(I-1)	○きせつきたの しもう(I-1)			○ふゆとなかよ	○もうすぐ2年 生(I-2、III- 3)	
図工	通年 作品の記録をとる(II)										
音楽	通年 記録をとる。(II)										
体育	通年 記録をとる。(II)										
外国語	通年 デジタル教科書(I, II)										
情報教育	○タブレット練習(I, II) ○情報モラル(IV) ○プログラミング(III)										
											○情報モラル についての動 画視聴(IV)
											○情報モラル についての動 画視聴(IV)

学年別年間指導計画【小学2年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 写真や本などから情報を集めることができる。 (I-2) 目的を考えて、発表したりすることができる。
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 情報を仲間に分けたり、整理したりすることができる。 (II-2) 分かりやすく表現することができる。 (II-3) できるようになったことに気づくことができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 分解して考えたり、問題の解決方法を考えたりすることができる。 (III-2) 問題の解決や表現するために、順次(順番ごとにする)や反復(繰り返し)を使って考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 自分や他の人たちの情報を大切に、ルールを守って安全にコンピュータなどをつかうことができる。 (IV-2) コンピュータやインターネットの基本的なルールやマナーがわかる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語			○ことばで絵をつたえよう (I-2) ○サツマイモのそだて方 (I-1)			○ビーバーの大工事 (I-1)	○たからものをしょうかいしよう (I-2)	○「ありがとう」をつたえよう (I-2)		○この人をしょうかいます (I-2) ○あなのやくわり (I-1)	
算数	通年 見学や調査などの記録をとる、ネット上の情報を集める (I) 学習したことをまとめたり発表したりする (II) コンテンツいちらん (教科書に記載されているQRコード) の活用。										
		○どんな計算になるのかな? (III-2)				○かけ算 (III-2)					
生活	通年 実験や観察などの記録をとる、ネット上の情報を集める (I) 学習したことをまとめたり発表したりする (II) コンテンツいちらん (教科書に記載されているQRコード) の活用。										
		○町たんけん計画 (I-1) ○町たんけんにでかけよう (I-1)			○自分でおもちやを作ってみよう (I-2)		○町のすてきさがそう (I-1)	○町たんけんをふりかえろう (I-1)		○自分のせい長をまとめよう (I-1・2、II-2)	
図工	通年 作品の記録をとる (II)										
音楽	通年 記録をとる。(II)										
体育	通年 記録をとる。(II)										
外国語	通年 デジタル教科書 (I, II)										
情報教育	○タブレット練習 (I, II) ○情報モラル (IV) ○プログラミング (III)										
		○情報モラルについての動画視聴 (IV)					○情報モラルについての動画視聴 (IV)				

学年別年間指導計画【小学3年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 図書資料・インターネットなどから情報を集めることができる。 (I-2) 相手や目的に応じて発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間40文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 情報同士のつながりを見つけたり、表やグラフで整理することができる。 (II-2) 相手や目的に合わせて、適切に表現することができる。 (II-3) 改善点を考えることができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 物事を分解して考えたり、問題の解決方法を考えたりすることができる。 (III-2) コンピュータとプログラムの関係を体験的に理解し、順次、反復を含んだプログラムを考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中で必要となる情報セキュリティを理解することができる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語						○パラリンピックが目指すもの(I-1)				○外国のことをしようかいしよう(I-1)	○「わたしのベストブック」を作ろう(II-2)
社会	通年 見学や調査などの記録をとる、ネット上の情報を集める(I)学習したことをまとめて発表したりする(II) コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。										
算数	通年 コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。										
理科	通年 実験や観察などの記録をとる、ネット上の情報を集める(I)学習したことをまとめて発表したりする(II) コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。										
図工	通年 作品の記録をとる(II)										
音楽	通年 記録をとる。(II)										
体育	通年 記録をとる。(II)										
外国語	通年 デジタル教科書(I, II)										
総合的な学習の時間	○キーボード練習【ローマ字入力】(I-3) ○情報モラル(IV) ○プログラミング(III)										
	○情報モラルについての動画視聴(IV)						○情報モラルについての動画視聴(IV)				

学年別年間指導計画【小学4年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 図書資料・インターネットなどから情報を集めることができる。 (I-2) 相手や目的に応じて発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間40文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 情報同士のつながりを見つたり、表やグラフで整理することができる。 (II-2) 相手や目的に合わせて、適切に表現することができる。 (II-3) 改善点を考えることができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 物事を分解して考えたり、問題の解決方法を考えたりすることができる。 (III-2) コンピュータとプログラムの関係を体験的に理解し、順次、反復を含んだプログラムを考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語		○みんなて新聞を作ろう (I-2・3, II-2)	○ことわざと故事成語 (I-1)	○広告を読みくらべよう (II-1) ○ローマ字の書き方 (I-3)	○学校について紹介することを考えよう (I-1・2, II-2)	○ふるさとの食を伝えよう (I-1・2, II-2) ○くらしの中の和と洋 (I-1・2, II-2・3)	○聞いてほしいな、心に残っている出来事 (I-3)	○じゅく後の意味を考える (II-1)	○百人一首の世界 (I-1) ○歌え方を生みだそう (II-2)	○調べたことをほうこくしよう (II-2)		
社会	通年 見学や調査などの記録をとる、ネット上の情報を集める (I) 学習したことをまとめて発表したりする (II) コンテンツいちらん (教科書に記載されているQRコード) の活用。											
	○大阪の様子 (I-1)	○住みよいらしとごみ (I-1)	○命とくらしをささえる水 (I-1)		○大阪府でおきた風水害 (I-1)	○受けつがれてきた祭りや行事 (I-1, II-1・2)		○淀川をつくりかえた人々 (II-2)	○色丁づくりがさかんな堺市 (I-1)	○ぶどう作りがさかんな柏原市 (I-2)	○みんなが住みよいまちをめざす豊中市 (II-2)	
算数	通年 コンテンツいちらん (教科書に記載されているQRコード) の活用。											
			○わり算の筆算 (1) (II-2・3)		○わり算の筆算 (2) (II-2・3)							
理科	通年 実験や観察などの記録をとる、ネット上の情報を集める (I) 学習したことをまとめて発表したりする (II) コンテンツいちらん (教科書に記載されているQRコード) の活用。											
	○春の生き物 (I-2)	○地面を流れる水のゆえ (II-2)		○夏の生き物 (I-2) ○夏の夜空 (I-1)	○月や星の動き (I-1)	○ヒトの体のつくりと運動 (III-1)	○秋の生き物 (I-2) ○みんなて使う理科室 (II-1) ○ものの温度と体積 (I-1)		○冬の生き物 (I-2) ○もののあたたまり方 (II-2)	○水のすがた (II-3)	○ものすがたとせいしつ (I-1) ○生き物の1年間 (I-2)	
図工	通年 作品の記録をとる (II)											
音楽	通年 歌唱や演奏などの記録をとる (II) コンテンツいちらん (教科書に記載されているQRコード) の活用。											
家庭科	通年 作品の記録をとる (II)											
体育	通年 記録をとる。(II)											
外国語					○Unit5 Do you have a pen? (II-2)		○Unit7 What do you want? (II-2)				○Unit9 This is my day. (II-2)	
総合的な学習の時間	○キーボード練習【ローマ字入力】(I-3) ○情報モラル(IV) ○プログラミング(III)											
	○情報モラルについての動画視聴(IV)						○情報モラルについての動画視聴(IV)					
	○環境教育 (I-1・2, II, IV) →											
									○手話・点字 (I-1・2, II) →			

学年別年間指導計画【小学5年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて吟味する。 (I-2) 相手や目的に応じて効果的に発信する。 (I-3) キーボード文字入力(1分間60文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を発見し、その解決のために調査や資料等から情報を収集する。 (II-2) 情報同士のつながりを見つけたり、表やグラフを用いて整理する。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造する。 (II-4) 改善点を分析し考える。
○ プログラミング的思考	(III-1) 順次、分岐、反復を含んだプログラムの作成を行い、評価・改善ができる。 (III-2) 情報技術の価値を自分の身の回りの生活と関連付けて考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他人への影響を考えて適切に使用する。 (IV-2) 生活の中で必要となる情報セキュリティを理解する。 (IV-3) 情報社会での情報技術の働きや産業や国民生活の関わりを理解することができる。

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語			○環境問題について報告しよう(I-1, II-1・3)	○新聞記事を読み比べよう(I-1)	○問題を可決するために話し合おう(II-4)	○輪の文化を受けつぐー和菓子をかざる(I-1・2, II-2)	○大造じいさんとガン(I-1, II-2)	○反対の立場を考えて意見文を書こう(II-3)		○資料を見て考えたことを話そう(I-1・2) ○手塚治虫(I-1・2)		
社会	通年 見学や調査などの記録をとる、ネット上の情報を集める。学習したことをまとめて発表したりする。 コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。											
		○自然条件と人々の暮らし(I-1)						○情報を伝える人々とわたしたち(III-2)	○自然災害とともに生きる(I-1・2, II-1・3)		○環境をともに守る(II-3)	
算数	通年 コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。											
		○小数のかけ算(I-1)	○小数のわり算(I-1)			○分数(I-1)		○四角形と三角形の面積(I-1)			○角柱と円柱(I-1)	
理科	通年 実験や観察などの記録をとる、ネット上の情報を集める。学習したことをまとめて発表したりする。 コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。											
図工	通年 作品の記録をとる。											
音楽	通年 歌唱や演奏などの記録をとる。 コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。											
家庭科	通年 作品の記録をとる。											
体育	通年 記録をとる。											
外国語					○Unit4 What time do you get up? (II-2)	○Unit6 I want to go to Italy. (I-2, II-1)		○Unit7 What would you like? (II-1,3)	○Unit8 Where is the gym? (II-3)	○Unit9 My hero is my brother. (II-3)		
総合的な学習の時間	○キーボード練習(I-3) ○情報モラル(IV) ○プログラミング(III)											
		○情報モラルについての動画視聴(IV)						○情報モラルについての動画視聴(IV)				

学年別年間指導計画【小学6年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて吟味する。 (I-2) 相手や目的に応じて効果的に発信する。 (I-3) キーボード文字入力(1分間60文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を発見し、その解決のために調査や資料等から情報を収集する。 (II-2) 情報同士のつながりを見つけたり、表やグラフを用いて整理する。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造する。 (II-4) 改善点を分析し考える。
○ プログラミング的思考	(III-1) 順次、分岐、反復を含んだプログラムの作成を行い、評価・改善ができる。 (III-2) 情報技術の価値を自分の身の回りの生活と関連付けて考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他人への影響を考えて適切に使用する。 (IV-2) 生活の中で必要となる情報セキュリティを理解する。 (IV-3) 情報社会での情報技術の働きや産業や国民生活の関わりを理解することができる。

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語							○世界に目を向けて意見文を書こう(I-1)		○プロフェッショナルたち(I-3)	○「卒業文集」を作ろう(I-3)	
社会	通年 見学や調査などの記録をとる、ネット上の情報を集める。学習したことをまとめたり発表したりする。 コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。										
					○全国統一の動き(I-2)				○日本とつながりの深い国々(II-1)		
算数	通年 コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。										
理科	通年 実験や観察などの記録をとる、ネット上の情報を集める。学習したことをまとめたり発表したりする。 コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。										
										○発電と電気の利用(III)	
図工	通年 作品の記録をとる。										
音楽	通年 歌唱や演奏などの記録をとる。 コンテンツいちらん(教科書に記載されているQRコード)の活用。										
家庭科		○グリーン大作戦(II-1)					○くふうしようおいしい食事(II-2)				
体育	通年 動画で記録をとる。										
外国語							○Unit6 This is my town(II-1)		○Unit8 What do you want to be(II-1)	○Unit9 Junior High School Life(II-1)	
総合的な学習の時間	○キーボード練習(I-3) ○情報モラル										
	○情報モラルについての動画視聴(IV)						○キーボード練習(I-3)				
	○プログラミング～アンブラドで思考を養う(III) → ○平和学習(I, II-1) → ○卒業式に向けて(II-2) →										

進捗体制	学校行事等		委員会		運動会		委員会		委員会		委員会		卒業式		
	学年	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
社会	3年			わたしたちの市の様子	はなちく人とわたしたちのくらし(スーパーマーケット)	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	4年		☆健康なくらしとまじりくり①こみほどこへ	水はどこから		☆自然災害にそなえるまちづくり(地域にくちまのそなえを調べよう)		☆はたらく人とわたしたちのくらし(せんたく>農業の仕事)		わたしたちの雨のあゆみ					
	5年			食糧生産を支える人々											大阪府の人々のくらし 恵の地図を広げて(農業や強豪がでかんな地域)
	6年														
	3年		たねをまこう		植物の育ちとつくり										
	4年		季節と生き物(1)春の生き物		季節と生き物(2)夏の生き物		月や星の動き		季節と生き物(3)秋の生き物		季節と生き物(4)冬の生き物				季節と生き物(5)生き物の1年間
理科	5年		植物の発芽と成長	ヒトのたんじょう	ヒトのたんじょう	花から葉へ									
	6年		ヒトや動物の体	植物のつくりとはたらき	植物のつくりとはたらき										
	1年		夏野菜の栽培	がっこうだいでいすきあいうえお	夏野菜の収穫	あざとなかよし ☆お箸の持ち方とさんまの食べ方				ひるがれえがが(1日)のせいかつをふりかえろう)				自然とともに生きる	
	2年		大きくなつた春	きせつだより 夏	みのおつた野さいましゅうかべくしよ わたしの野さいましゅうかいししよ					きせつだより 冬					
	5年		大きゅうしょくのしかた(特)	はじめてみようクッキング	ことばあそびひらきをつくらう(国) ふえる たなばたさま(音)										
	6年		いためてつくろう朝食のおかず		ことばあそびひらきをつくらう(国) おおきくなあれ(国) ことばでリズム(音)										
家庭科	1年		食料について知ろうくえんどう豆の皮むき>(特)	さわとしお(国) あわせていくつ ふえる といくつ(算)	ことばあそびひらきをつくらう(国) おおきくなあれ(国) ことばでリズム(音)										
	2年		同じ数ずつ分けるとき の計算を考えよう(算) きそく正しい生活(体)	サツマイモのそだて方(国)	いろいろななべのもの えいこの言い方(外)										
	3年		みかんの花さくおか(音)	茶つみ(音)	健康な生活(体)										
	4年		心の健康(保)	環境問題について報告しよう(国)											
	5年		イースター島にはなぜ森林がないのか(国)	Welcome to Japan(外)	報告の表し方を考えよう(算)										
	6年														
他教科等	1年		スライム(国)	ごちそうパーティーはじめよう(図)	うれしいひなまつり(音)										
	2年		おもしろいひなまつり(音)	ごちそうパーティーはじめよう(図)	うざぎ(音)										
	3年		おもしろいひなまつり(音)	ごちそうパーティーはじめよう(図)	うざぎ(音)										
	4年		おもしろいひなまつり(音)	ごちそうパーティーはじめよう(図)	うざぎ(音)										
	5年		おもしろいひなまつり(音)	ごちそうパーティーはじめよう(図)	うざぎ(音)										
	6年		おもしろいひなまつり(音)	ごちそうパーティーはじめよう(図)	うざぎ(音)										

